

**USER'S
MANUAL**

4ポート ブロードバンドルータ

BRL-04FWU

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンドルータ

BRL-04FWU

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提としています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- ・ 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・ 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- ・ 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual Version 1.1 No.PMN-04-03-TY-BRL-04FWU

本製品を安全にご利用いただくために



本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り得てください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

目次

使用前に必ずお読みください	2
本製品を安全にご利用いただくために	3
第1章 はじめに	
1. 概要	7
2. 特長	8
3. 梱包内容の確認	10
4. 各部の名称	11
5. 対応機器	14
6. 設定の初期化	15
第2章 ハードウェアの接続	
1. 設置場所について	17
2. 設置する	18
3. ADSLモデム/Dフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムとの接続	19
4. パソコンとの接続	21
5. 電源の接続	22
第3章 パソコンの設定	
1. パソコンのネットワーク設定をおこなう	24
2. 本製品とパソコンの接続を確認する	33
第4章 インターネットへの接続	
1. 接続設定を行う前にご確認ください	41
2. 設定ページを開く	42
3. PPPoE接続	44
4. PPPoEマルチセッション接続	52
5. DHCP接続	54
6. 固定IP接続	57

第5章 基本設定

1. LAN設定	61
2. パスワード	62
3. 時刻設定	63
4. 通信レポート	64
5. アクセスログ	67
6. ツール	69
7. 初期化	75

第6章 詳細設定

1. グループ設定	77
2. 機能設定	83
3. セキュリティ設定	97

第7章 プリンタサーバ設定

1. プリンタへの接続	103
2. 設定ユーティリティとポートドライバのインストール	104
3. プリンタの設定	107
4. ユーティリティの起動	111
5. ユーティリティによる設定	115
6. WEBブラウザからの設定	118
7. ユーティリティのアンインストール	119

付録A ネットワークQ&A

1. ブロードバンドルータの色々な「？」について	121
2. 設定画面	124
3. インターネットにアクセスできない	130
4. その他 よくあるお問い合わせについて	138

付録B 仕様

ユーザー登録について

弊社へのお問い合わせ

質問表

はじめに

1 概要

本製品はADSL、FTTHおよびCATV（ケーブルTV）接続を使った高速インターネット接続に対応した、高性能ブロードバンドルータです。

本製品はUSB端子を有し、USB対応のプリンタと接続することで、プリントサーバとしても利用することが可能です。

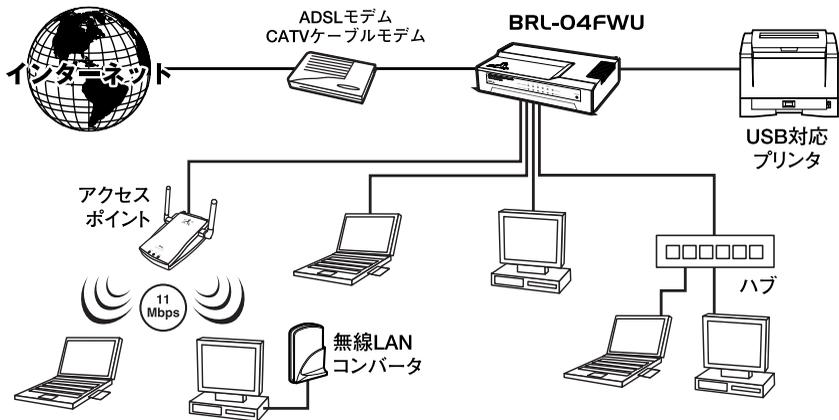


図1-1 接続図



注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合があります。プロバイダとの契約内容についてご確認ください。

2 特長

●USBポート内蔵

USB対応プリンタと接続することでプリントサーバ機能を利用することができます。

●PPPoEクライアント機能

Bフレッツ、フレッツADSLに対応し、インターネット接続時にフレッツ接続ツール等を使用せずに簡単にインターネットに接続できます。

●PPPoEマルチセッション

2つのPPPoEアカウントを使って、それぞれ異なるネットワークに接続できる機能です。NTT東日本、NTT西日本のフレッツサービスなどにご利用頂けます。

●PPPoE以外の接続

本製品はPPPoE以外のサービスに対応しています。PPPoE以外の自動取得、固定IPアドレスを設定することができます。

●LAN側IPアドレス設定

本製品のLAN側IPアドレスは192.168.1.1になります。お使いのLAN環境に合わせてLAN側のIPアドレスを変更することができます。

●NAPT機能

複数のプライベートアドレスを1つのグローバルアドレスに変換します。この機能によりLAN側に複数のパソコンがある場合でも、簡単にインターネットに接続できます。

●DHCPサーバ機能

LAN側のパソコンやネットワーク機器に動的にIPアドレスを割り当てることができます。

また、割り当てるIPアドレスの範囲や、特定の機器にだけ常に同じIPアドレスが割り当てられるよう設定することもできます。

●ルーティング機能

本製品と他のネットワーク機器のルーティング情報を静的に設定できる、スタティックルーティングに対応しています。

●UPnP

Universal Plug and Play Internet Gateway Device v1.0に準拠し、WindowsMessengerやMSN MessengerなどのUPnPアプリケーションを簡単に利用することができます。

●セキュリティ機能

本製品は、あらかじめ基本的なセキュリティが搭載されています。許可、拒否を選択するだけで簡単に設定ができます。

●パケットフィルタ機能

本製品のパケットフィルタはLANからインターネット、インターネットからLANの両方向に設定することができます。

●リモートアクセス機能

本製品はセキュリティを保つために、WAN側からの設定画面のアクセスは制限されています。遠隔地から本製品の設定を変更する場合は、リモートアクセス機能を利用することで、WAN側から設定画面にアクセスができ、本製品の保守、管理を行うことができます。

●URLフィルタ

LAN側のパソコンから観覧を禁止したいWEBサイトを登録することで、特定のWEBサイトへのアクセスを制限することができます。

●E-Mail通知機能

本製品に通知先のE-Mailを登録することで、本製品がDoS攻撃を受けたときに自動的に通知することができます。

●ローカルサーバ機能

WAN側からアクセスがあった時に、予め設定してあるLAN側の特定のパソコンへパケットを転送することで、LAN側に設定してあるサーバやサービスをWAN側に公開することができます。

●バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能を使用すると、LAN側にある1台のパソコンをWAN側に公開することができます。ローカルサーバ機能で、設定するためのポート情報が分からない場合、1台のパソコンに全てのサービスを設定しWAN側に公開したい場合などに利用できます。

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- BRL-04FWU本体
- AC電源アダプタ
- UTPストレートLANケーブル(1m)
- CD-ROM(マニュアル&ユーティリティ&ポートドライバ)
- 安全に関する説明書
- 保証書

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■ 本体前面

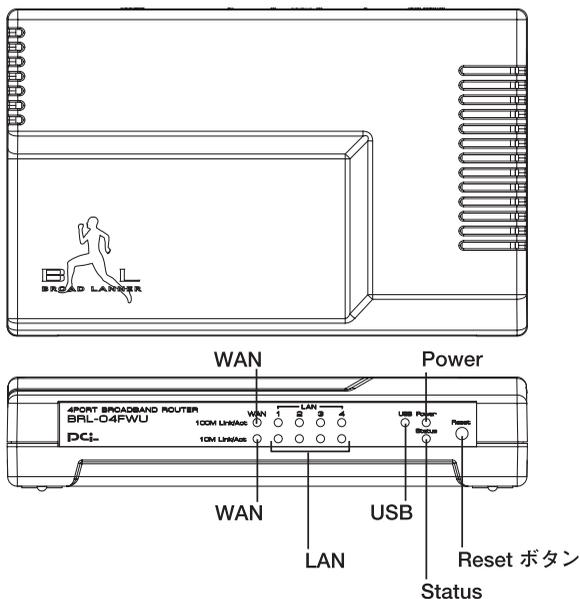


図1-2 BRL-04FWU本体前面

【LED表示】

Power	緑	点灯	電源が投入されています
		消灯	電源が切れています
Status	赤	点滅	起動中です
USB	緑	点滅	USBポートでデータの送受信中です
LAN	緑	点灯	LANポートが100Mで確立しています
		点灯	LANポートが10Mで確立しています
WAN	緑	点灯	WANポートでの接続が100Mで確立されています
		点滅	データの送受信中です
	橙	点灯	WANポートでの接続が10Mで確立されています
		点滅	データの送受信中です

[Reset ボタン]

本製品を再起動するときや、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す時に使います。

■ 本体背面

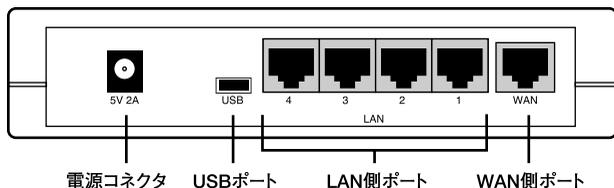


図1-3 BRL-04FWU 本体背面

「WAN側ポート」

本製品をADSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「LAN側ポート」

本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポートです。

「USBポート」

USBケーブルを使用し、プリンタのUSBポートと接続するポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

■ 本体裏面

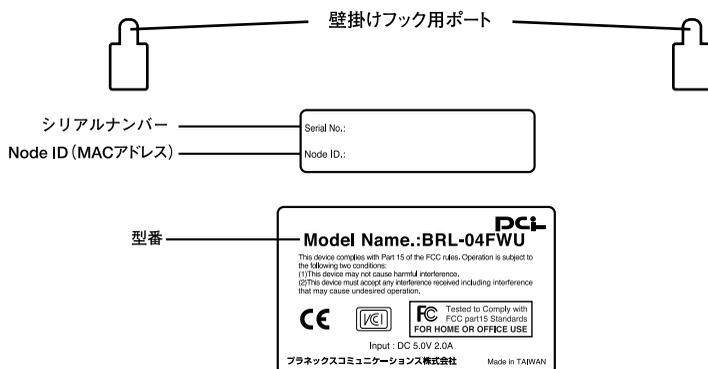


図1-4 BRL-04FWU本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受けるときにも必要となります。

「MACアドレス」

本製品のWAN/LANポートのMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要なことがあります。そのときはこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

「壁掛けフック用ポート」

このポートを利用して壁掛け設置が可能です。

■コンピュータ機器

本製品は以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- Windows 98SE/Me/2000/XPを搭載し、Ethernet (RJ-45) ポートを装備したコンピュータ
- TCP/IPが利用できるOS (MAC OSなど) を搭載し、Ethernet (RJ-45) ポートを装備したコンピュータ

■ネットワーク機器

本製品では以下のネットワーク機器が必要になります。

- ツイストペアケーブル (本製品に接続するコンピュータの台数分)

■WEB設定画面について

本製品はWEBブラウザで設定を行います。

コンピュータに以下のWEBブラウザがインストールされている必要があります。

また、WEBブラウザでJavaScriptが使用できるかどうか、設定を確認してください。

- Windowsの場合は、Microsoft Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator6.0以上
- MacOSの場合は、Microsoft Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator6.0以上

6 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった時や、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったときは、本製品の設定を初期化することで購入時の状態に戻すことができます。



注意

- 設定の初期化を行うと、それまで設定されていた値は全て消去され購入時の状態に戻りますのでご注意ください。
- 初期化を実行する前に予め本製品に接続しているケーブルをポートから外しておくことを推奨します。
- 初期化が完了するまで、本製品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

■本製品の初期化手順

1. 本製品の電源アダプタを抜きます。
2. 本製品の正面にある「Reset」ボタンを押します。
3. 30秒程で、Status LEDが素早く点滅し出しますので、「Reset」ボタンを離します。
4. 初期化及び再起動がおこなわれます。
5. 各種LEDが正常な表示になったら、作業は終了です。

ハードウェアの接続

本

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム等、コンピュータとの接続手順について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置するには必ず以下の点をお守りください。

- 湿気の多い場所には設置しない。
- チリやほこりの多い場所には設置しない。
- 直射日光の当たる場所や温度の高い場所には設置しない。
- 内部に熱がこもる原因となるため、周囲にはなるべく空間を空ける。

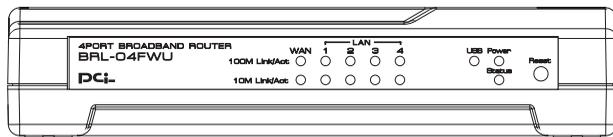


注意

通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

2 設置する

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使ってください。



↑
平らな面

図2-1 本体横置き

図のように本体の平らな面が下になるように設置して下さい。

*本製品は、背面に壁掛けフック用ポートがありますので、壁掛け設置も可能です。

2

ハードウェアの接続

3

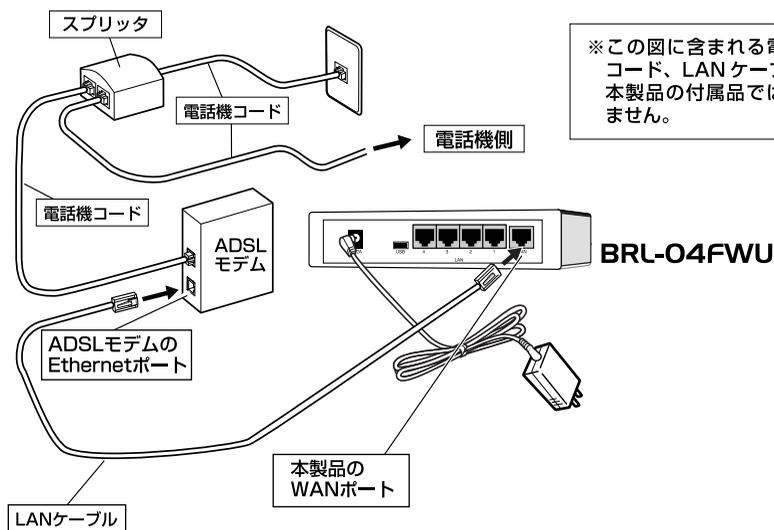
ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/
ケーブルモデムとの接続

■接続前の準備

- ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムの電源は切ってください。
電源スイッチがないタイプはコンセントからAC電源アダプタを抜いてください。
- 本製品付属のツイストペアケーブルをご用意ください。

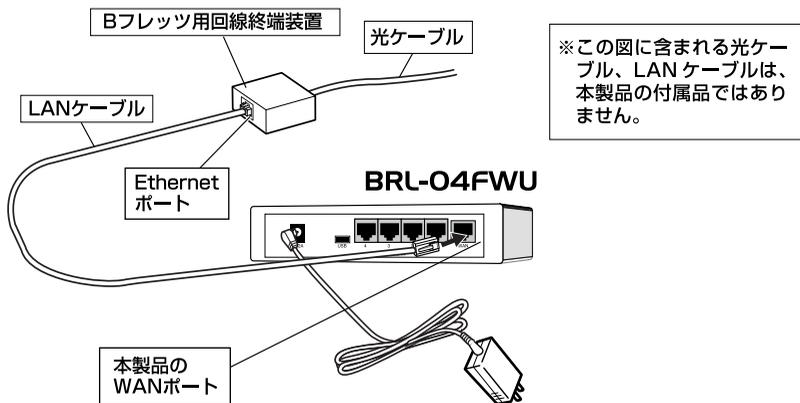
■ADSLモデムとの接続

本製品のWANポートと、ADSLモデムのEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



■Bフレッツ用回線終端装置との接続

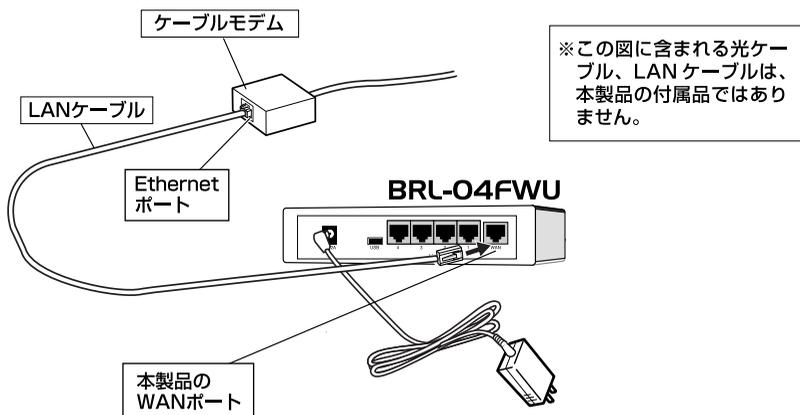
本製品のWANポートと、”Bフレッツ”用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



Bフレッツ用回線終端装置との接続

■ケーブルモデムとの接続

本製品のWANポートと、”Bフレッツ”用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



ケーブルモデムとの接続

4 パソコンとの接続

1. ツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN 側ポートに接続します。本製品のLAN 側ポートは結線のタイプを自動認識するAuto MDI/MDI - X に対応しています。コンピュータを接続するツイストペアケーブルはストレートタイプ、クロスオーバータイプのどちらでも使用できます。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 ポートに接続します。
このとき、ケーブルのコネクタがポートの奥までしっかりささっているか確認してください。

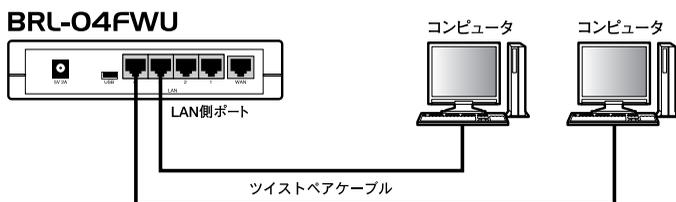


図2-2 コンピュータとの接続

5 電源の接続

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を入れます。
2. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続します。
3. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れてください。

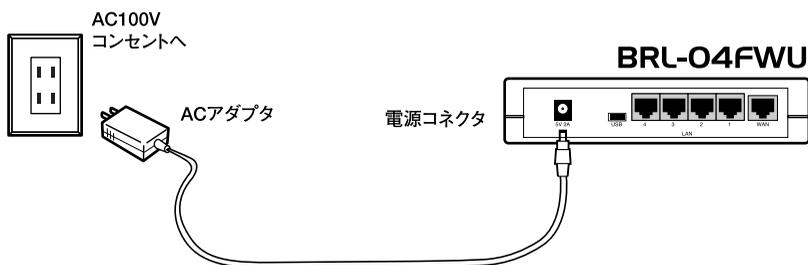


図2-4 電源の接続



注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

パソコンの設定

本

章では、インターネットに接続するために、パソコンのネットワーク設定を確認し必要に応じて設定を変更します。

なお、本製品に接続する全てのパソコンでこの設定を行う必要があります。設定方法はOSによって異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

3

パソコンの設定

■パソコンのネットワーク設定を行う

- WindowsXPの場合.....P.24
- Windows2000の場合.....P.26
- WindowsMe/98 SEの場合.....P.28
- MacOS Xの場合.....P.31
- MacOS 9.x/8.xの場合.....P.32

■本製品とパソコンの接続を確認する

- WindowsXPの場合.....P.33
- Windows2000の場合.....P.35
- WindowsMe/98 SEの場合.....P.36
- MacOS Xの場合.....P.38
- MacOS 9.x/8.xの場合.....P.39

1 パソコンのネットワーク設定を行う

■ Windows® XPの場合



注意

- この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
- 以下の操作手順および表示画面はWindows® XPの初期状態の場合です。Windows® XPの設定によっては異なる場合があります。

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続] の画面が表示されます。
[ネットワーク接続] をクリックします。



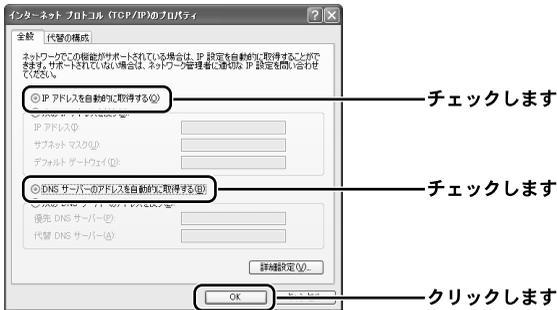
3. [ネットワーク接続] の画面が表示されます。
[ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



4. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面が表示されます。
[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5. [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] の画面が表示されます。
[IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] にチェックします。[OK] をクリックします。



6. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面に戻ります。
[OK] をクリックします。



■ Windows® 2000の場合



注意

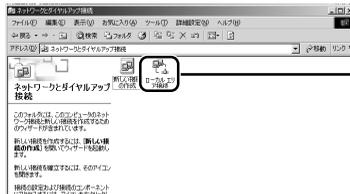
この作業を行うには **[Administrator]** または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
2. [コントロールパネル] の画面が表示されます。
[ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。



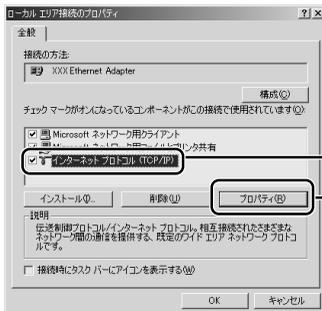
ダブルクリックします

3. [ネットワークとダイヤルアップ接続] の画面が表示されます。
[ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



右クリックします

4. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面が表示されます。
[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

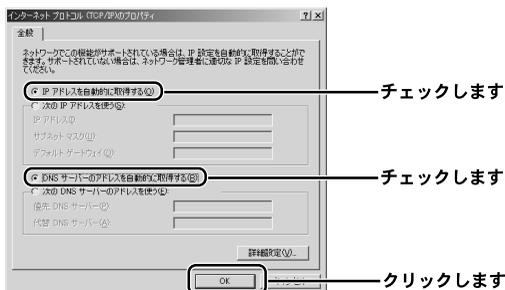


選択します

クリックします

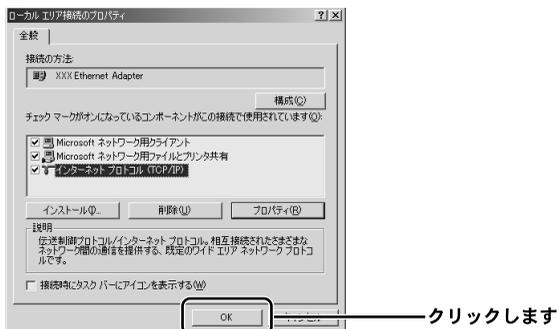
5. [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] の画面が表示されます。

[IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] にチェックします。[OK] をクリックします。



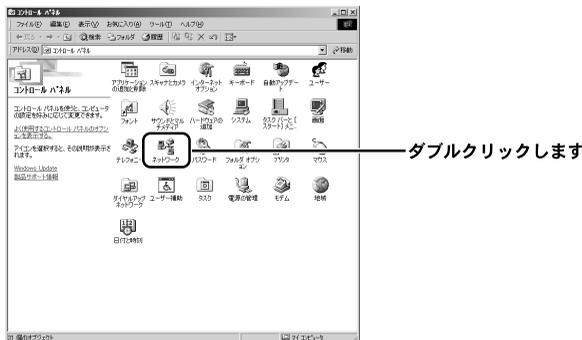
6. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面に戻ります。

[OK] をクリックします。



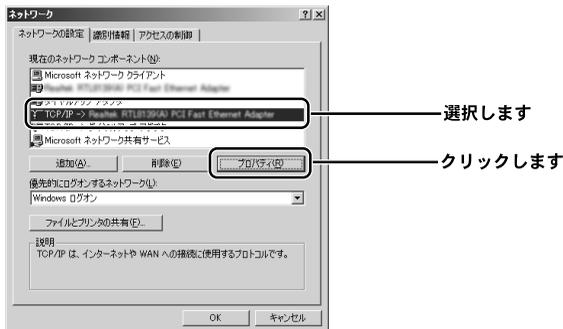
■Windows® Me/98SEの場合

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
2. [コントロールパネル] の画面が表示されます。
[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。



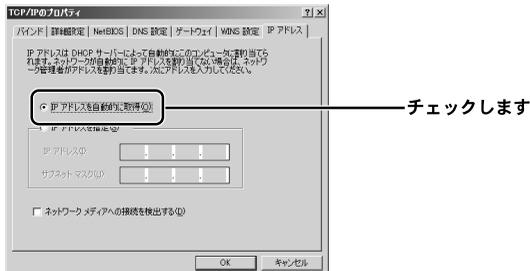
※Windows® Meで [ネットワーク] アイコンが表示されない場合は、コントロールパネル左側の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する] をクリックしてください。

3. [ネットワーク] の画面が表示されます。
[現在のネットワークコンポーネント] 欄から [TCP/IP → お使いのLANカード (またはLANボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



4. [TCP/IPのプロパティ] の画面が表示されます。

[IPアドレス] タブをクリックし、[IPアドレスを自動的に取得] をチェックします。



5. [ゲートウェイ] タブをクリックし、[インストールされているゲートウェイ] 欄に何も設定されていないのを確認します。



注意

IPアドレスが表示されている場合は、表示されている数字を選択し、右の[削除]をクリックします。

6. [DNS設定] タブをクリックし、[DNSを使わない] をチェックします。

[OK] をクリックします。



7. [ネットワーク] の画面に戻ります。

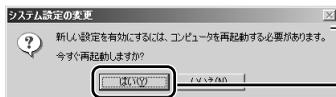
[OK] をクリックします。



[ネットワーク] ダイアログに戻ります。

クリックします

8. 再起動を要求するメッセージが表示されましたら、[はい] をクリックして、パソコンを再起動します。



再起動を促すメッセージが表示されます。

クリックします

■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
2. [システム環境設定] の画面が表示されます。
[ネットワーク] アイコンをクリックします。



※ここに [ネットワーク] アイコンが表示されない場合は、[すべてを表示] アイコンをクリックします。

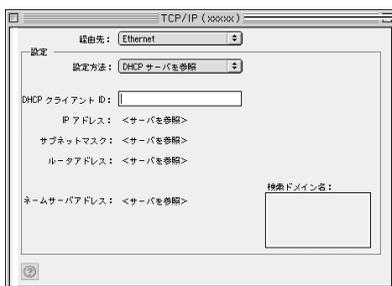
3. [ネットワーク] の画面が表示されます。
[設定] 欄から [(内蔵) Ethernet] を選択します。
4. [TCP/IP] タブをクリックし、[設定] 欄から [DHCPサーバを参照] を選択します。
[保存] ボタンをクリックします。



■ Mac® OS9.x/8.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。
2. [TCP/IP] の画面が表示されます。
[経由先] 欄から [Ethernet] を選択し、[設定方法] 欄から [DHCPサーバを参照] を選択します。



[TCP/IP] ウィンドウが表示されます。

3. クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。
確認ウィンドウが表示されたら、[保存] ボタンをクリックします。

2 本製品とパソコンとの接続を確認する

ここでは、パソコンに正しいIPアドレスが割り当てられているか確認します。



注意

- 本製品のDHCPサーバ機能は、初期状態で有効に設定されているため、パソコンにIPアドレスが自動的に割り当てられます。
- 本製品のLAN側IPアドレスは、初期状態では「192.168.1.1」に設定されています。

■Windows® XPの場合

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] をダブルクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続] の画面が表示されます。
[ネットワーク接続] をクリックします。



[ネットワークとインターネット接続] ウィンドが表示されます。

クリックします

3. [ネットワーク接続] の画面が表示されます。

[ローカルエリア接続] を右クリックし、[状態] をクリックします。



[ネットワーク接続] ウィンドウが表示されます。

右クリックします

4. [ローカルエリア接続の状態] の画面が表示されます。

[サポート] タブをクリックし、[IPアドレス] 欄を確認します。

IPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



[ローカルエリア接続の状態] ダイアログが表示されます。



注意

別のIPアドレスが表示された場合は、[修復] をクリックしてください。

5. [閉じる] をクリックします。

■Windows® 2000の場合

1. [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を選択します。
2. [コマンドプロンプト] の画面が表示されます。
[C:¥>] に続けて、[ipconfig] と入力しキーボードの [Enter] キーを押します。



[コマンドプロンプト] の画面が表示されます。

3. 画面に [Ethernet adapterローカル エリア接続:] の情報が表示されます。
[IP Address] の項目でIPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



同じ画面に、[Ethernet adapter ローカル エリア接続:] の情報が表示されます。



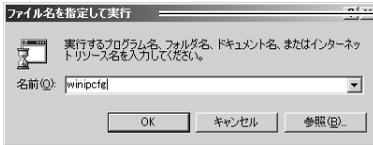
注意

別のIPアドレスが表示された場合は、[C:¥>] に続けて [ipconfig/renew] と入力し、[Enter] キーを押します。

4. コマンドプロンプトの画面を閉じます。

■ Windows® Me/98SEの場合

1. [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
2. [ファイル名を指定して実行] の画面が表示されます。
[名前] 欄に [winipcfg] と入力し、[OK] をクリックします。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

3. [IP設定] の画面が表示されます。
[アダプタ情報] 欄からお使いのLANカード/ボードを選択します。



「IP設定」ウィンドウが表示されます。

4. IPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



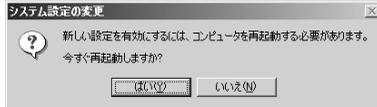
※別のIPアドレスが表示された場合は、
「解放」ボタンをクリックし、「書き換え」ボタンをクリックしてください。



注意

別のIPアドレスが表示された場合は、[解放] をクリックし、[書き換え] をクリックします。

5. [Ok] をクリックします。
6. 再起動を要求するメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックし再起動します。



■Mac® OS Xの場合

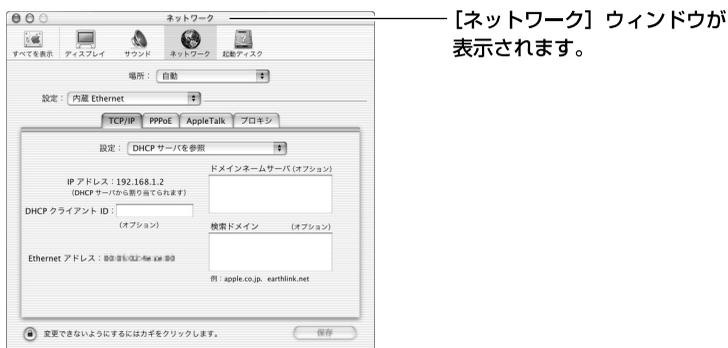
※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
2. [システム環境設定] 画面が表示されます。
[ネットワーク] アイコンをクリックします。



※ここに [ネットワーク] アイコンが表示されない場合は、[すべてを表示] アイコンをクリックします。

3. [ネットワーク] 画面が表示されます。
[設定] 欄から [(内蔵) Ethernet] を選択します。[TCP/IP] タブをクリックし、[IPアドレス] 欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



※別のIPアドレスが表示された場合は、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

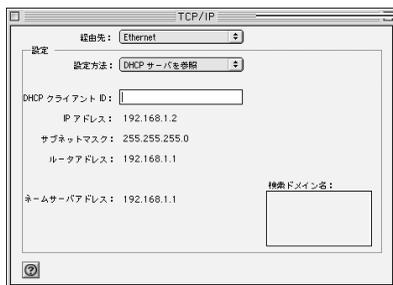
■Mac® OS 9.x/8.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。

2. [TCP/IP] の画面が表示されます。

[経由先] 欄から [Ethernet] を選択し、[IPアドレス] 欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



[TCP/IP] ウィンドウが表示されます。

※別のIPアドレスが表示された場合は、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

インターネットへの接続

本

製品の設定は、Webブラウザから「設定ページ」を開いて行います。初めてインターネットに接続するときは、設定ページの「接続設定」を使用します。

1 接続設定を行う前にご確認ください

■「フレッツ・ADSL」または「Bフレッツ」による接続では、どちらの場合もPPPoEプロトコルを使います。そのため、接続設定での操作方法は同じです。設定を開始する前に、以下の項目をチェックしてください。

■プロバイダから通知された情報はお手元にありますか？
設定には、プロバイダから通知される以下の情報が必要です。

- ・接続ユーザ名
- ・接続パスワード
- ・DNSサーバのIPアドレス（プロバイダから通知された場合のみ）
- ・IPアドレス（固定IPアドレスの場合のみ）

※プロバイダによって、上記の呼び方が異なる場合があります。

（例）接続ユーザ名 → ユーザID、アカウント、ユーザ名
ご不明な場合はプロバイダにお問い合わせください

■フレッツ接続ツールを起動していませんか？

設定を行うパソコンで「フレッツ接続ツール」が起動していないことを確認してください。起動しているときは、終了してください。

■本製品は「フレッツ・ADSL」または「Bフレッツ」以外のDHCPを利用した接続にも対応しています。

■固定IPアドレスで接続する場合は、以下の情報が必要です。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイのIPアドレス
- ・DNSサーバのIPアドレス

4

インターネットへの接続

2 設定ページを開く

ここでは、本製品の設定ページを開くための方法について説明します。

1. 本製品につないだパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に「http://192.168.1.1/」と入力します。



2. 本製品にログオンするためのパスワード入力画面が表示されます。工場出荷時のユーザ名は「admin」、パスワードは「password」です。ユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



3. 本製品の設定画面が表示されます。



4

インターネットへの接続

■インターネット接続方法の確認

●PPPoE接続

- ・ PPPoE接続でIPアドレスを自動取得する場合 P.46
- ・ PPPoE接続でIPアドレスを固定設定する場合 P.49

●通常接続

- ・ DHCPから自動取得する場合 P.53
- ・ 固定IPアドレスで設定する場合 P.56

3 PPPoE接続

ここでは、PPPoE接続で設定する場合の方法について説明します。
プロバイダから通知された情報をご用意ください。

■ PPPoE接続の各機能の説明

The screenshot shows the configuration interface for PPPoE connection. At the top, there are tabs for '接続設定' (Connection Settings), '基本設定' (Basic Settings), '詳細設定' (Advanced Settings), 'プリントサーバー設定' (Print Server Settings), and 'ステータス' (Status). The current view is '接続設定 => PPPoE 接続'. Below this, there's a dropdown menu for '表示する接続タイプ: PPPoE 接続'. The main area is divided into two sections: 'PPPoE設定' and 'DNSサーバー設定 [IPv4]'. The 'PPPoE設定' section includes fields for 'PPPoE ユーザー名', 'PPPoE パスワード', and 'PPPoE サービス名'. It also has radio buttons for 'PPPoE 自動接続' (checked) and '無効', and a dropdown for 'セッションキープアラブ' set to '無効'. Other options include '自動切替タイムアウト' (120 (秒)), 'IPアドレス自動取得' (checked), '固定IPアドレス' (0.0.0.0), and 'MSS(Max Segment Size)' (1412). The 'DNSサーバー設定 [IPv4]' section has radio buttons for 'DNS IPアドレス 自動取得' (checked) and '無効', and a table for DNS servers:

	優先度	IPアドレス	ポート
プライマリ DNS IP アドレス	169	06	1 1
セカンダリ DNS IP アドレス	169	06	1 2

At the bottom, there are buttons for '適用' and 'リセット'.

4 インターネットへの接続

「PPPoEユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoEユーザ名を入力します。
フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、@（アットマーク）以下も正確に入力してください。入力は半角文字で1～64文字になります。

「PPPoEパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを入力します。入力は半角英数字で1～64文字になります。また、入力された値はセキュリティのために*（アスタリスク）で表示されます。



注意

大文字や小文字は別の文字として扱われることや、数字の0（ゼロ）と英字のO（オー）の違いなどに注意してください。

「PPPoEサービス名」

プロバイダからPPPoE接続サービス名を指定された場合のみ入力します。
指定がない限り、通常は入力しないでください。入力は半角文字で0～64文字になります。

「PPPoE 自動接続」

LAN側ネットワークからインターネットへの通信が検出されたときに自動的にPPPoEアカウントへの接続を行います。

接続後は、「切断」が押されたとき、「自動切断アイドルタイム」が経過したとき、公衆網から切断されたとき、PPPoEサーバが検出されなくなったときに自動的に切断動作します。

「セッション・キーアライブ」

PPPoEセッションが何らかしらのアクシデントで切断された場合、一旦切断動作を行います。切断が完了後、接続動作を再開し常にPPPoEセッションを維持します。常にセッションを維持したい場合は、この機能を有効にしてください。

また、「セッション・キーアライブ」が有効の場合は、「自動切断アイドルタイム」の機能は無効になります。

「自動切断アイドルタイム」

「自動切断アイドルタイム」の時間内に、LAN側からインターネットへの通信が検出されなかった場合は、自動的に切断動作を行います。

「IPアドレス自動取得」

PPPoE接続時にプロバイダからIPアドレスを自動的に取得する場合は「有効」を選択します。プロバイダから特定のIPアドレスが割り当てられているときは「無効」を選択します。

「固定IPアドレス」

プロバイダから特定のIPアドレスが割り当てられているときは、プロバイダからの情報をもとにIPアドレスを入力します。

「MSS (Max Segment Size)」

PPPoE接続時のMSSの値を入力します。フレッツ・ADSL、BフレッツのMSS値は最大1414byteになります。

「DNS IPアドレス自動取得」

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動取得する場合は「有効」を選択します。

プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されているときは「無効」を選択します。

「プライマリDNS IPアドレス/セカンダリDNS IPアドレス」

プロバイダからDNS IPアドレスが指定されているときは、プロバイダからの情報をもとにDNS IPアドレスを入力します

■ PPPoE接続でIPアドレスを自動取得する場合

1. メニューバーから「接続設定」アイコンをクリックします。



2. 「接続タイプ」欄から「PPPoE接続」を選択します。



3. 「PPPoE設定」の画面が表示されます。



「PPPoEユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoEユーザ名を入力します。フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、@（アットマーク）以下も正確に入力してください。入力は半角文字で1～64文字になります。

「PPPoEパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを入力します。入力は半角英数字で1～64文字になります。また、入力された値はセキュリティのために*（アスタリスク）で表示されます。



注意

大文字や小文字は別の文字として扱われることや、数字の0（ゼロ）と英字のO（オー）の違いなどに注意してください。

「PPPoEサービス名」

プロバイダからPPPoE接続サービス名を指定された場合のみ入力します。指定がない限り、通常は入力しないでください。入力は半角文字で0～64文字になります。

4. 「IPアドレス自動取得」欄から「有効」を選択します。

表示する接続タイプ: PPPoE 接続

PPPoE設定

PPPoE ユーザー名:

PPPoE パスワード:

PPPoEサーバー名:

PPPoE自動接続: 有効 無効

セッション・キープラジブ: 無効

自動切断アイドルタイム: 120 (秒)

IPアドレス自動取得: 有効

固定IPアドレス: . . .

MSS(Max Segment Size): 1412

5. 「DNS IPアドレス自動取得」欄から「有効」を選択します。

DNSサーバーアドレス設定

DNS IP アドレス 自動取得: 有効 無効

プライマリ DNS IP アドレス: . . .

セカンダリ DNS IP アドレス: . . .

6. 入力完了後、設定画面の下にある「適用」をクリックします。

7. メニューバーから「ステータス」アイコンをクリックします。



8. 本製品のステータスが表示されます。 「システム設定」欄から「接続」をクリックします。

BRL-04FWU >>>

接続設定 基本設定 詳細設定 フリットバー/設定 ステータス

ステータス

本製品のステータスを表示します。

<p>接続情報</p> <p>PPPoE 接続: 有効</p> <p>PPPoE 接続時間: 0 sec</p> <p>WAN IP アドレス: 0.0.0.0</p> <p>サブネットマスク: 0.0.0.0</p> <p>デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0</p> <p>ポートフォワード: 0(Bit/Sec)</p> <p>プライマリ DNS サーバ: 168.95.1.1</p> <p>セカンダリ DNS サーバ: 168.95.1.2</p> <p>ドメイン名: <input type="text"/></p>	<p>システム設定</p> <p>バージョン: 8.25.01p Build 0017 L.02</p> <p>セキュリティ: 有効</p> <p>稼働日時: Thu Jan 01 09:00:00 1970</p> <p>PPPoE: <input type="button" value="接続"/> <input type="button" value="切断"/></p> <p>LAN設定</p> <p>LAN IP アドレス: 192.168.1.1</p> <p>サブネットマスク: 255.255.255.0</p> <p>ブリッジ</p> <p>メーカー: <input type="text"/></p> <p>製造モデル: <input type="text"/></p> <p>サポート電話: 切断/切断</p> <p>ステータス: オフライン</p>
--	--

8. PPPoE接続の経過が表示されます。「戻る」をクリックします。



戻る



注意

「PPPoE設定」で「PPPoE自動接続」を有効にした場合は、本動作は必要ありません。
LAN側からインターネットへの接続動作が検出されたときに自動的にPPPoEアカウントへ接続します。

9. 「接続情報」欄にPPPoE接続の情報が表示されます。



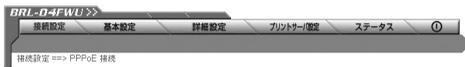
10. 以上で設定は完了です。

4

インターネットへの接続

■PPPoE接続でIPアドレスを固定設定する場合

1. メニューバーから「接続設定」アイコンをクリックします。



2. 「接続タイプ」欄から「PPPoE接続」を選択します。



3. 「PPPoE設定」の画面が表示されます。



「PPPoE ユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoEユーザ名を入力します。フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、@（アットマーク）以下も正確に入力してください。入力は半角文字で1～64文字になります。

「PPPoE パスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを入力します。入力は半角英数字で1～64文字になります。また、入力された値はセキュリティのために*（アスタリスク）で表示されます。



注意

大文字や小文字は別の文字として扱われることや、数字の0（ゼロ）と英字のO（オー）の違いなどに注意してください。

「PPPoE サービス名」

プロバイダからPPPoE接続サービス名を指定された場合のみ入力します。指定がない限り、通常は入力しないでください。入力は半角文字で0～64文字になります。

11. PPPoE接続の経過が表示されます。「戻る」をクリックします。

```

BRL-D4FWU >>
 接続設定  基本設定  詳細設定  フリットサー設定  ステータス  ⓘ
-----
connect 3880
service name 1
Send PADI packet
Received PADO packet
Send PADR packet
Received PADSS packet
status up
PPP/LCP Phase:Start
PPP/LCP Phase:Start
PPP/Authentication Phase:DHAP Start
PPP/LCP:Start
PPP/DHAP Challenge
PPP/DHAP Auth Success
PPP/PPPoE Link Up
Connecting Service Successful
Your PPPoE/DLL connection is up and running now !
  
```



注意

「PPPoE設定」で「PPPoE自動接続」を有効にした場合は、本動作は必要ありません。
LAN側からインターネットへの接続動作が検出されたときに自動的にPPPoEアカウントへ接続します。

12. 「接続情報」欄にPPPoE接続の情報が表示されます。

ステータス
本製品のステータスを表示します。

接続情報	システム設定
PPPoE 接続: 有効 PPPoE 接続時間: 60 sec WAN IP アドレス: 211.9.242.185 サブネットマスク: 255.255.255.255 ゲートウェイ: 219.103.128.42 ポートトラフィック: 18 (Bits/Sec) プライマリ DNS サーバ: 211.9.226.5 セカンダリ DNS サーバ: 211.9.226.69 ドメイン名:	バージョン: 8.25.25r Build 0008 L01 セキュリティ: 有効 起動日時: Tue Nov 19 14:45:41 2003 PPPoE: <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
LAN設定 LAN IP アドレス: 192.168.1.1 サブネットマスク: 255.255.255.0	

13. 以上で設定は完了です。

4 PPPoE マルチセッション接続

ここでは、PPPoEマルチセッション接続の方法について説明します。同時に複数のPPPoE接続相手先との通信が可能なセカンダリセッション接続(マルチセッション)を設定することができます。これにより1つのWANアクセス機器(ブロードバンドルータなど)が、複数のPPPoEアカウントを使って、それぞれ異なるネットワークに接続できます。本製品は、最大2つのPPPoEセッションに同時接続することができます。(PPPoE 2セッションサポート)

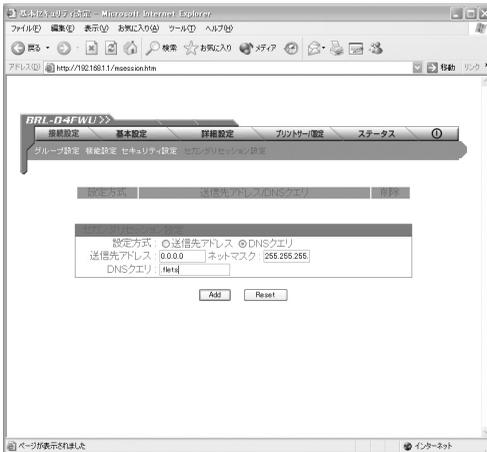
1. メニューバーの「接続設定」、「PPPoE接続」より、「セカンダリセッション接続設定」を開いて下さい。



2. PPPoEユーザ名、PPPoEパスワード欄にセカンダリセッション用のアカウントを入力します。必要に応じてその他の項目を設定して下さい。例はNTT東日本のフレッツサービスをご利用の際の入力例です。



3. メニューバーの「詳細設定」、「セカンダリセッション設定」より、セカンダリセッション接続設定を開いて下さい。「設定方式」より、セカンダリセッションの設定方式を選択します。接続先をIPアドレスで指定する場合は、「送信先アドレス」を選択して、接続先のアドレスとネットマスクを入力して下さい。接続先をURLで指定したいときは、「DNSクエリ」を選択して下さい。通常は、こちらの方が良く使われると思われます。DNSクエリの設定方法は、下の表をご参照下さい。設定が完了したらAddボタンを押して適用して下さい。また、設定を取り消したい時は、Delボタンを押して下さい。例は、NTT東日本のフレックスクウェアをご利用の際の入力例です。



クエリの例

.com
 .abc.com
 abc.com
 .www.abc.com
 www.abc.com
 *.abc

適合するアドレスの例

abc.com
 www.abc.com
 abc.comのみ
 abc.www.def.com
 www.abc.comのみ
 www.abc

4. メニューバーの「ステータス」、「システム設定」より、Session1、Session2の順で「接続」ボタンを押して下さい。なお、この操作は、セッションキープアライブを有効に設定している時には必要ありません。



5 DHCP接続

ここでは、DHCP接続で設定する場合の方法について説明します。
プロバイダから通知された情報をご用意ください。

■ DHCP接続の各機能の説明

接続設定 >>> DHCP 接続

表示する接続タイプ: DHCP 接続

DHCP設定

ホスト名:

ドメイン名:

WAN側 MAC アドレス: 00:90:CC:59:12:33
クライアントPC MAC アドレス: 00:50:56:14:E4:01

IPアドレス設定

IPアドレス設定方法: IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定

WAN IPアドレス	0	0	0	0
WAN サブネットマスク	255	255	255	0
WAN デフォルトゲートウェイ	0	0	0	0

DNSサーバ設定

DNS IP アドレス 自動取得: 有効 無効

プライマリ DNS IP アドレス	202	234	232	223
セカンダリ DNS IP アドレス	211	129	12	214

4

インターネットへの接続

「ホスト名」

ご利用のブロードバンドサービスによってはホスト名の設定が必要な場合があります。
プロバイダから指定されてる場合のみ入力します。

「ドメイン名」

ご利用のブロードバンドサービスによってはドメイン名の設定が必要な場合があります。
プロバイダから指定されてる場合のみ入力します。

「WAN側MACアドレス」

本製品のWAN側のMACアドレスになります。

「クライアントPCMACアドレス」

現在設定するために本製品にアクセスしてるPCのMACアドレスになります。

「MACアドレスコピー」

プロバイダによってはインターネットに接続するPCのMACアドレスの登録が必要な場合があります。「MACアドレスコピー」をクリックすることで、「クライアントPCMACアドレス」に表示されてるMACアドレスをWAN側MACアドレスにコピーします。

「MACアドレス修復」

クライアントPCのMACアドレスを再取得します。

「IPアドレス設定方法」

WAN側IPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレス自動取得」を選択します。

「DNS IPアドレス自動取得」

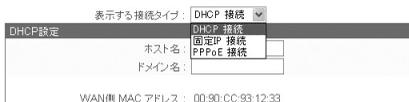
DNSサーバのIPアドレスを自動取得する場合は、「DNS IPアドレス自動取得」を選択します。

■DHCP接続でIPアドレスを自動取得する場合

1. メニューバーから「接続設定」アイコンをクリックします。



2. 「表示する接続タイプ」欄から「DHCP接続」を選択します。



3. プロバイダから「ホスト名」、「ドメイン名」の入力を指定されてる場合は、プロバイダからの情報をもとに入力します。
特に指定されていない場合は、デフォルトのままか空欄にしてください。



4. 「IPアドレス設定方法」欄から「IPアドレス自動取得」を選択します。

IPアドレス設定				
IPアドレス設定方法: <input checked="" type="radio"/> IPアドレス自動取得 <input type="radio"/> IPアドレス固定設定				
WAN IPアドレス:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
WAN サブネットマスク:	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="0"/>
WAN デフォルトゲートウェイ:	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

5. 「DNS IPアドレス自動取得」から「DNS IPアドレス自動取得」を選択します。

DNSサーバ設定				
DNS IP アドレス 自動取得: <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効				
プライマリ DNS IP アドレス:	<input type="text" value="168"/>	<input type="text" value="95"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>
セカンダリ DNS IP アドレス:	<input type="text" value="168"/>	<input type="text" value="95"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>

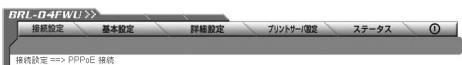


注意

プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されている場合は、「プライマリ/セカンダリDNS IPアドレス」欄に入力してください。

6. 「適用」をクリックします。

7. メニューバーから「ステータス」アイコンをクリックします。



8. 「接続情報」欄にDHCP接続の情報が表示されます。

BRL-04FWU >>	
接続設定	基本設定 詳細設定 フリットサー/設定 ステータス
接続設定 ==> PPPoE 接続	
ステータス 主要品のステータスを表示します。	
接続情報 PPPoE 接続: 無効 PPPoE 接続時間: 0 sec WAN IP アドレス: 219.184.54.32 サブネットマスク: 255.255.254.0 ゲートウェイ: 219.184.55.254 ポートトラフィック: 0(B/s/Sec) プライマリ DNS サ →バ: 218.176.253.97 セカンダリ DNS サ →バ: 43.224.255.1 ドメイン名:	システム設定 バージョン: 8.25.25r Build 0008 L.01 セキュリティ: 有効 起動日時: Tue Nov 18 14:55:08 2003 DHCP: <input type="button" value="DHCP 閉鎖"/> <input type="button" value="DHCP 再取得"/>
LAN設定 LAN IP アドレス: 192.168.1.1 サブネットマスク: 255.255.255.0	



注意

WAN側IPアドレスが取得できていない場合は、「システム設定」欄から「DHCP再取得」をクリックしてください。

9. 以上で設定は終了です。

6 固定IP接続

ここでは、固定IP接続で設定する場合の方法について説明します。
プロバイダから通知された情報をご用意ください。

■ 固定IP接続の各機能の説明

The screenshot shows the configuration page for BRL-04FWU. The '接続設定' (Connection Settings) tab is active, and the '固定IP接続' (Fixed IP Connection) option is selected. Below the navigation tabs, there are two tables for configuration.

表示する接続タイプ: 固定IP 接続 表示する接続タイプをプロバイダのWebページから確認します

固定IP設定				
WAN IP アドレス	0	0	0	0
WAN サブネットマスク	255	255	255	0
WAN デフォルトゲートウェイ	0	0	0	0

DNS サーバ設定				
プライマリ DNS IP アドレス	168	96	1	1
セカンダリ DNS IP アドレス	168	96	1	2

Buttons:

「WAN IP アドレス」

プロバイダから割り当てられているIPアドレスを入力します。

「WAN サブネットマスク」

プロバイダから指定されているサブネットマスクを入力します。

「WAN デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定されているデフォルトゲートウェイを入力します。

「プライマリ/セカンダリDNS IPアドレス」

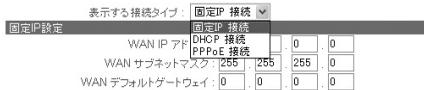
プロバイダから指定されているDNSサーバのIPアドレスを入力します。

■固定IP接続で接続する場合

1. メニューバーから「接続設定」アイコンをクリックします。



2. 「表示する接続タイプ」欄から「固定IP接続」を選択します。



3. プロバイダからの情報をもとに「WAN IP アドレス」、「WAN サブネットマスク」、「WAN デフォルトゲートウェイ」を入力します。



4. プロバイダからの情報をもとに「プライマリDNS IPアドレス/セカンダリDNS IPアドレス」を入力します。



5. 「適用」をクリックします。



6. メニューバーから「ステータス」アイコンをクリックします。



7. 「接続情報」欄に固定IP接続の情報が表示されます。



8. 以上で設定は終了です。

基本設定

こ

ここでは、本製品の基本的な設定について説明します。

1 LAN設定

ここでは、本製品のLAN側のネットワークを設定する場合の方法について説明します。本製品のLAN側IPアドレスの初期値は「192.168.1.1」です。ご利用のネットワーク環境に合わせてLAN側のIPアドレスを変更することができます。



「LAN IP アドレス」

本製品のLAN側のIPアドレスを入力します。

「サブネットマスク」

本製品のLAN側のサブネットマスクを入力します。

「デフォルトゲートウェイ」

本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。通常は本製品のLAN側のIPアドレスと同じ値を入力します。

「設定画面ログインポート」

本製品の設定画面にログインするとき使用するポート番号を入力します。

「UPnP」

本製品でUPnP機能を有効にする場合は、「有効」を選択してください。

5

基本設定

2 パスワード

ここでは、本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する方法について説明します。本製品のご利用に際してはセキュリティ上、パスワードの変更を推奨します。

BRL-04FWU >>

初期設定 基本設定 詳細設定 パスワード設定 ステータス ⓘ

LAN設定 無線LAN設定 時刻設定 通信レコーダ アクセスログ ツール 初期化

基本設定 >>> パスワード

管理者用パスワードの設定を行います。

パスワード設定

現在のパスワード

新しいパスワード (半角英数字8文字)

新しいパスワード(再入力)

適用 リセット

5

基本設定

「現在のパスワード」

現在のパスワードを入力します。

「新しいパスワード」

新しいパスワードを入力します。半角英数字で3～8文字を入力します。

「新しいパスワード (再入力)」

確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

3 時刻設定

ここでは、本製品の内部時計の設定をする場合の方法について説明します。



「タイムゾーン」

本製品に設定するタイムゾーンを選択します。

「日付」

本製品に設定する日付を入力します。

「時間」

本製品に設定する時間を入力します。

「NTPクライアント機能」

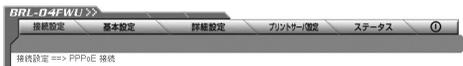
本製品でNTPクライアント機能を使用する場合は、「有効」を選択します。

4 通信レポート

ここでは、本製品のWANポート、LAN側からインターネットのトラフィック情報を確認することができます。

■WANポートのトラフィック情報

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「通信レポート」をクリックします。



3. 「通信レポート一覧」の画面が表示されます。「WANポート」欄から「見る」をクリックします。



4. 「ネットワークトラフィック統計」の画面が表示されます。「更新頻度」欄からトラフィック情報の更新間隔を選択します。間隔は「毎分」「毎時」「毎日」の3つから選択することができます。



5. 「Total Traffic表示」「Upload Traffic表示」「Download Traffic表示」欄からそれぞれ「表示」、「非表示」を選択します。

6. 手動で更新を行う場合は、「更新」をクリックします。

更新頻度：

Total Traffic 表示： 表示 非表示

Upload Traffic 表示： 表示 非表示

Download Traffic 表示： 表示 非表示

7. 「戻る」をクリックします。

■LAN側からインターネットのトラフィック情報

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「通信レポート」をクリックします。



3. 「通信レポート一覧」の画面が表示されます。「LAN to WAN」欄から「見る」をクリックします。



4. 再度、「見る」をクリックします。



5. 「ネットワークトラフィック統計」の画面が表示されます。
「更新頻度」欄からトラフィック情報の更新間隔を選択します。間隔は「毎分」「毎時」「毎日」の3つから選択することができます。



6. 「Total Traffic 表示」「Upload Traffic 表示」「DownLoad Traffic 表示」欄からそれぞれ「表示」、「非表示」を選択します。
7. 手動で更新を行う場合は、「更新」をクリックします。



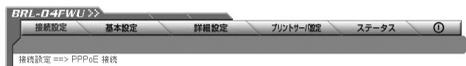
8. 「戻る」をクリックします。

5 アクセスログ

ここでは、本製品のネットワークモニターとイベントログの確認をする場合の方法について説明します。

■ネットワークモニター

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「アクセスログ」をクリックします。



3. 「ネットワークモニター」をクリックします。



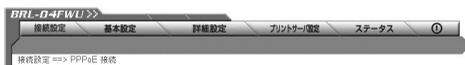
4. 本製品のLAN側からインターネットへの接続状況が表示されます。



5. 表示を更新する場合は、「更新」をクリックします。

■ イベントログ

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「アクセスログ」をクリックします。



3. 「イベントログ」をクリックします。



4. 本製品のイベントログ情報が表示されます。



5. 表示を更新する場合は、「更新」をクリックします、表示を削除する場合は「削除」をクリックします。
6. 本製品のイベントログを設定したメールアドレスに送信する場合は、「メール送信」をクリックします。

6 ツール

ここでは、本製品の管理やファームアップデートをする場合の方法について説明します。

■ Ping テスト

ここでは、本製品から入力したIPアドレスへPingテストを行います。



■ 設定の保存と修復

ここでは、本製品の設定内容を保存する場合と保存した設定内容を本製品に書き戻す場合の方法について説明します。

● 設定を保存する場合

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



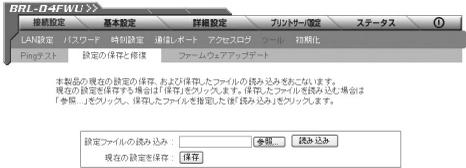
2. 「ツール」をクリックします。



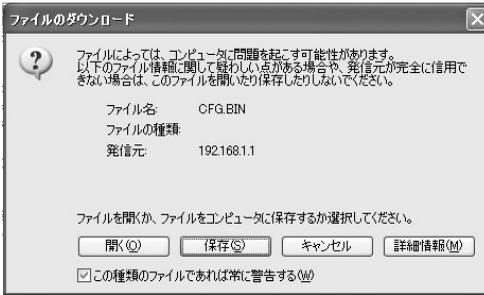
3. 「設定の保存と修復」をクリックします。



4. 設定情報を保存する場合は、「保存」をクリックします。

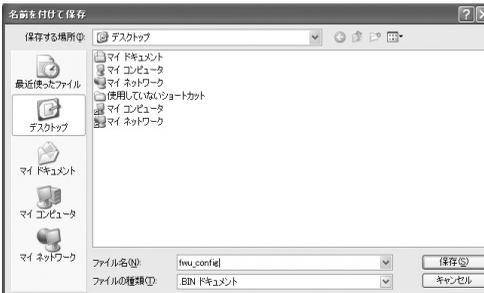


5. 「ファイルのダウンロード」の画面が表示されます。「このファイルをディスクに保存する」にチェックし、「OK」をクリックします。



「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

6. ファイルを保存する場所を選択し、「ファイル名」欄に任意のファイル名を入力します。「保存」をクリックします。



- 「保存」をクリックします。
- 「ダウンロードの完了」の画面が表示されます。「閉じる」をクリックします。



●設定を書き戻す場合

- メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



- 「ツール」をクリックします。



- 「設定の保存と修復」をクリックします。



- 「参照」をクリックします。



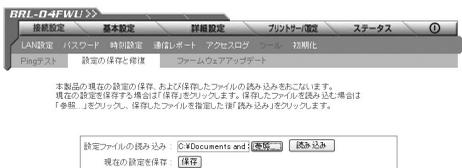
本製品の現在の設定の保存、および復元したファイルの読み込みを兼ねています。
現在の設定を保存する場合は「保存」をクリックします。保存したファイルを読み込む場合は
「参照」をクリックし、保存したファイルを選択した後「読み込み」をクリックします。



5. 「ファイルの選択」の画面が表示されます。
設定情報を保存したファイルを選択し、「開く」をクリックします。



6. 「読み込み」をクリックします。



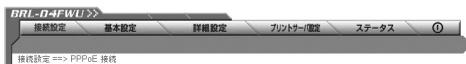
7. 「再起動中です。再起動終了までしばらくお待ちください」の画面が表示されます。



■ファームウェアアップデート

ここでは、本製品のファームウェアの更新を行う場合の方法について説明します。

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「ツール」をクリックします。



3. 「ファームウェアアップデート」をクリックします。



4. 「参照」をクリックします。



5. 「ファイルの選択」の画面が表示されます。

本製品のファームウェアを選択し、「開く」をクリックします。



6. 「アップデート」をクリックします。



7. 「再起動しています。」の画面が表示されます。

再起動しています...

8. 本製品が再起動後ファームウェアが有効になります。

5

基本設定

7 初期化

ここでは、本製品を初期化する場合の方法について説明します。
本製品の初期化を行うと、工場出荷時の状態に戻ります。

1. メニューバーから「基本設定」アイコンをクリックします。



2. 「初期化」をクリックします。



3. 「本製品の設定を工場出荷時の状態に戻しますか？」の画面が表示されます。「はい」をクリックします。



本製品の設定を工場出荷時の状態に戻しますか？

4. 「本製品を再起動しますか？」の画面が表示されます。「すぐに再起動する」をクリックします。

変更した設定を有効にするには、本製品を再起動する必要があります

本製品を再起動しますか？

5. 本製品の再起動後、設定は初期化されます。

詳細設定

こ

ここでは、本製品の詳細機能について説明します。

1 グループ設定

本製品はパケットフィルタ設定で使用する設定を、グループとして登録することができます。登録できるグループには送信先/送信元IPアドレスとなる「IPアドレスグループ」、フィルタリングするプロトコル/ポート情報となる「フィルタグループ」、何曜日の何時から何時までのようにスケジュールを決めてフィルタリングを行うときの「スケジュールグループ」の3つがあります。

■IPアドレスグループ

ここでは、パケットフィルタリングのときに使用する、送信先IPアドレスまたは送信元IPアドレスをグループとして登録します。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



6

詳細設定

2. 「グループ設定」をクリックします。



3. 「IPアドレスグループ」をクリックします。



4. 「グループ一覧」の画面が表示されます。 「グループ名」欄に登録するグループの名前を任意で入力します。



5. 登録するIPアドレスを「開始IPアドレス」と「終了IPアドレス」に入力します。



注意

登録するIPアドレスが1つの場合は、「開始IPアドレス」と「終了IPアドレス」に同じ値を入力してください。

6. 「追加」 をクリックします。

7. 「グループ一覧」 の画面に登録したIPアドレスが表示されます。

グループ一覧

グループ名	開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	削除
User1	192.168.1.1	192.168.1.254	Delete

新規グループ作成

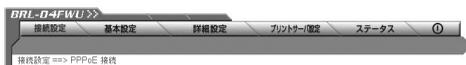
グループ名	<input type="text"/>			
開始 IP アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
終了 IP アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

追加

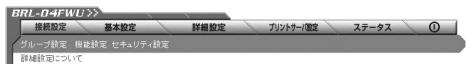
■フィルタグループ

ここでは、パケットフィルタリングのときに使用するプロトコル/ポート番号の情報をグループとして登録します。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「グループ設定」 をクリックします。



3. 「フィルタグループ」 をクリックします。



- 「フィルタグループ一覧」の画面が表示されます。
「グループ名」欄に登録するグループの名前を任意で入力します。



- 本製品にはあらかじめよく使うプロトコル/ポート番号が登録されています。「サービス一覧」から該当するプロトコル/ポート番号がある場合は選択します。



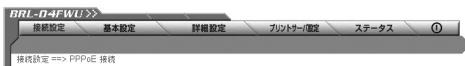
- 「サービス一覧」に該当するプロトコル/ポート番号がない場合は、「プロトコル」欄のTCP、UDP、ICMPからプロトコルを選択し、「ポート番号」欄に使用するポート番号を入力します。
- 「適用」をクリックします。
- 「フィルタグループ一覧」の画面に登録したフィルタが表示されます。



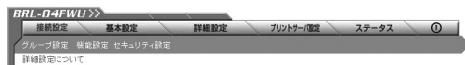
■スケジュールグループ

ここでは、特定の曜日や、特定の時間などスケジュールを決めてフィルタリングしたい場合のスケジュールをグループとして登録します。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「グループ設定」をクリックします。



3. 「スケジュールグループ」をクリックします。



4. 「スケジュール一覧」の画面が表示されます。
「グループ名」欄に登録するグループの名前を任意で入力します。

スケジュール一覧

スケジュール名	曜日	時間	削除
---------	----	----	----

新規スケジュール作成

スケジュール名

曜日 から 月曜

開始時間 0 時 00 分

終了時間 0 時 00 分

5. 「曜日」欄からスケジュールを設定する曜日を選択します。「開始時間」、「終了時間」欄にスケジュールを設定する時間を選択します。分単位で設定する場合は0～59の値を入力します。

スケジュール一覧

スケジュール名	曜日	時間	削除
everyday	日曜	0時00分 - 0時00分	Delete

新規スケジュール作成

スケジュール名: everyday

曜日: 日曜 から 月曜

開始時間: 0時00分

終了時間: 0時00分

追加

6. 「追加」をクリックします。

7. 「スケジュール一覧」の画面に登録したスケジュールが表示されます。

スケジュール一覧

スケジュール名	曜日	時間	削除
everyday	From Sunday To Monday	0 Hour 0 Min. - 0 Hour 0 Min.	Delete

新規スケジュール作成

スケジュール名:

曜日: 日曜 から 月曜

開始時間: 0時00分

終了時間: 0時00分

追加

6

詳細設定

2 機能設定

本製品のDHCPサーバ、バーチャルコンピュータ、ルーティング、ローカルサーバ、ダイナミックDNSの設定に関して説明します。

■DHCPサーバの各機能の説明

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「機能詳細」をクリックします。



3. 「DHCPサーバ」をクリックします。



4. 「DHCPサーバ設定」の画面が表示されます。「DHCPサーバ機能」欄から本製品のDHCPサーバ機能の有効/無効を選択します。

DHCPサーバ設定					
DHCPサーバ機能: <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効					
プライマリ DNS サーバ IP:	168	95	1	1	
セカンダリ DNS サーバ IP:	168	95	1	2	
WINS サーバ IP:	0	0	0	0	

6. 「プライマリDNSサーバIP」と「セカンダリDNSサーバIP」には現在本製品が取得してるDNSサーバのIPアドレスが表示されます。

DHCPサーバ設定				
DHCPサーバ機能		有効		
プライマリ DNS サーバ IP	168	95	1	1
セカンダリ DNS サーバ IP	168	95	1	2
WINS サーバ IP	0	0	0	0

7. DHCPサーバ機能を使用してLAN側のDHCPクライアントにWINSサーバのIPアドレスを配布する場合は、「WINSサーバIP」欄にWINSサーバのIPア

DHCPサーバ設定				
DHCPサーバ機能		有効		
プライマリ DNS サーバ IP	168	95	1	1
セカンダリ DNS サーバ IP	168	95	1	2
WINS サーバ IP	0	0	0	0

8. ドレスを入力します。
「適用」をクリックします。

6

詳細設定

●クライアント一覧

本製品に接続してるDHCPクライアントを表示します。

1. 「クライアント一覧」アイコンをクリックします。

DHCPサーバ機能の設定を行います。

クライアント一覧 固定割り当て設定 リリース時間設定

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能	有効			
DNSリレー機能	有効			
プライマリDNSサーバIP	168	95	1	1
セカンダリDNSサーバIP	168	95	1	2
WINSサーバIP	0	0	0	0

適用 リセット

2. 「DHCPクライアント一覧」の画面が表示されます。 「更新」をクリックすると最新の情報に更新します。



3. 「閉じる」をクリックします。

●固定割り当て設定

本製品に接続してDHCPクライアントに常に同じIPアドレスを割り当てる場合について説明します。

1. 「固定割り当て設定」アイコンをクリックします。

DHCPサーバ機能の設定を行います。

クライアント名	DHCPサーバ機能	有効	無効
プライマリ DNS サーバ IP	168	95	1 1
セカンダリ DNS サーバ IP	168	95	1 2
WINS サーバ IP	0	0	0 0

通用 リセット

- ### 2. 「DHCP IPアドレス固定設定」の画面が表示されます。
- 「割り当てるIPアドレス」欄に常に固定で割り当てるIPアドレスを入力し、「固定割り当てを行う端末MACアドレス」欄に固定でIPアドレスを割り当てるクライアントのMACアドレスを入力します。

DHCP 固定IPアドレス割り当ての追加および修正を行います。

DHCP 固定IPアドレス一覧

割り当てるIPアドレス	固定割り当てを行う端末MACアドレス	削除
-------------	--------------------	----

DHCP 固定IPアドレス新規作成

割り当てるIPアドレス	固定割り当てを行う端末MACアドレス
10	00:90:CC:00:00:01

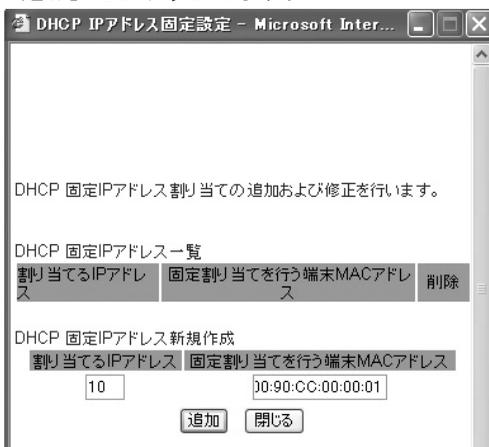
追加 閉じる



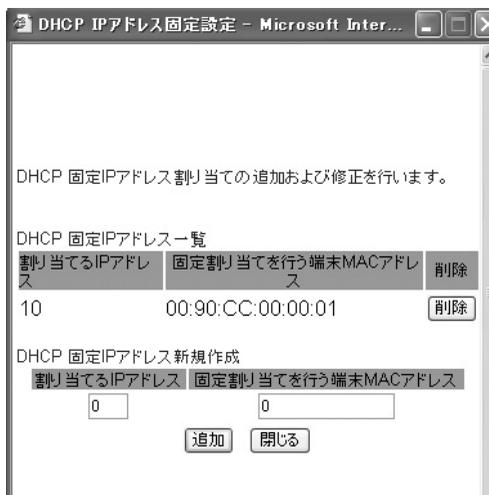
注意

MACアドレスの入力は:(コロン)を必ず入力してください。
例) 00:90:CC:00:00:01

3. 「追加」をクリックします。



4. 「DHCP固定IPアドレス一覧」に追加したIPアドレスとMACアドレスが表示されます。



注意

既に登録してある一覧を削除する場合は、「削除」をクリックします。

5. 「閉じる」をクリックします。

●リース範囲設定

本製品のDHCPサーバ機能で割り当てるIPアドレスの範囲を設定する場合について説明します。

1. 「リース範囲設定」アイコンをクリックします。

DHCPサーバ機能の設定を行います。

クライアント一覧	固定割り当て設定	リース範囲設定
DHCPサーバ設定		
DHCPサーバ機能: 有効		
プライマリ DNS サーバ IP:	168.95.1.1	1
セカンダリ DNS サーバ IP:	168.95.1.2	2
WINS サーバ IP:	0.0.0.0	0
適用 リセット		

- ## 6 詳細設定
2. 「リース範囲設定」の画面が表示されます。
「新規リース範囲作成」欄にDHCPクライアントに割り当てるIPアドレスの開始アドレス、終了アドレスを入力します。

リース範囲設定

更新

DHCPリース範囲一覧

開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	削除
------------	------------	----

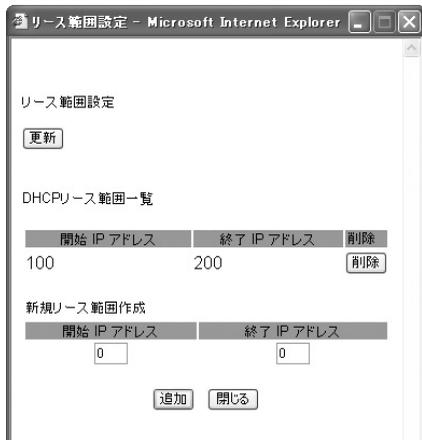
新規リース範囲作成

開始 IP アドレス	終了 IP アドレス
100	200

追加 閉じる

3. 「追加」をクリックします。

4. 「DHCPリース範囲一覧」に追加したIPアドレスの範囲が表示されます。



注意

既に登録してある一覧を削除する場合は、「削除」をクリックします。

5. 「閉じる」をクリックします。

■バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能とは、インターネットから本製品のWAN側へ送られてくる宛先不明のパケットをあらかじめ設定してあるLAN側のホストへ転送する機能です。使用するポート情報等が公開されてなく、ローカルサーバの設定ができない場合などにご利用ください。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「機能詳細」をクリックします。



3. 「バーチャルコンピュータ」をクリックします。



4. 「バーチャルコンピュータ」欄から「有効」にチェックします。

バーチャルコンピュータの設定を行います。

バーチャルコンピュータ: 有効 無効

WAN IP アドレス				LAN IP アドレス			
<input type="text" value="0"/>							
<input type="text" value="0"/>							
<input type="text" value="0"/>							
<input type="text" value="0"/>							
<input type="text" value="0"/>							

5. 「WAN IPアドレス」欄に本製品のWAN側IPアドレスを入力し、「LAN IPアドレス」欄にパケットを転送するLAN側クライアントのIPアドレスを入力します。

バーチャルコンピュータの設定を行います。

バーチャルコンピュータ: 有効 無効

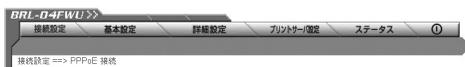
WAN IP アドレス				LAN IP アドレス			
<input type="text" value="210"/>	<input type="text" value="131"/>	<input type="text" value="15"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="192"/>	<input type="text" value="168"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

6. 「適用」をクリックします。

■ルーティング

本製品にスタティックルートの設定をする場合の方法について説明します。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「機能詳細」をクリックします。



3. 「ルーティング」をクリックします。



4. 「接続先アドレス」欄にパケットの送信先のネットワークアドレスを入力します。

接続先アドレス:

サブネットマスク:

ゲートウェイ:

メトリック:

インタフェース:

5. 「サブネットマスク」欄に送信先ネットワークのサブネットマスクを入力します。

7. 「ゲートウェイ」欄に送信先アドレスに到達するためのゲートウェイを入力します。
8. 「メトリック」欄にメトリック値を入力し、「インターフェイス」欄から「LAN」または「WAN」のインターフェイスを選択します。
9. 「追加」をクリックします。

接続先アドレス:
 サブネットマスク:
 ゲートウェイ:
 メトリック:
 インタフェース:

10. 「スタティックルート一覧」に追加したスタティックルートが表示されます。

スタティックルート一覧

接続先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス	削除
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.1.254	1	LAN	<input type="button" value="削除"/>

接続先アドレス:
 サブネットマスク:
 ゲートウェイ:
 メトリック:
 インタフェース:



注意

既に登録してある一覧を削除する場合は、「削除」をクリックします。

■ ローカルサーバ

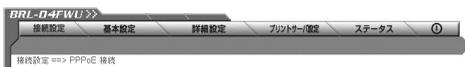
ローカルサーバ機能とは、WAN側からの特定の packets をあらかじめ指定してあるLAN側のパソコンに転送する機能です。これにより、LAN側に設置してあるサービスやサーバをインターネットに公開し、インターネットからLAN側にアクセスすることができます。



注意

ローカルサーバ機能を使用する場合は、LAN側に設置してあるサービスやサーバで使用する、プロトコル/ポート番号の情報が必要になります。使用するプロトコル/ポート番号が分からない場合はバーチャルコンピュータ機能をご利用ください。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「機能詳細」をクリックします。



3. 「ローカルサーバ」をクリックします。



- 「新規ローカルサーバ設定作成」の画面が表示されます。
「プロトコル」欄から使用するプロトコルを選択します。

ローカルサーバの設定を行います。

ローカルサーバ設定一覧

プロトコル	公開ポート番号	IPアドレス	ポート番号	削除
新規ローカルサーバ設定				
プロトコル:	TCP	公開ポート番号:	0	
IPアドレス:	0	0	0	0
ポート番号:	0			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="リセット"/>				

- 「公開ポート番号」欄にインターネット側からみた送信先ポート番号（公開ポート番号）を入力します。
- 「IPアドレス」欄にWAN側に公開するパソコンのIPアドレスを入力します。
- 「ポート番号」欄にWAN側に公開するパソコンがそのパケットを受け入れるポート番号を入力します。通常は「公開ポート番号」と同じ値を入力します。
- 「追加」をクリックします。

新規ローカルサーバ設定

プロトコル:	TCP	公開ポート番号:	21	
IPアドレス:	192	168	1	100
ポート番号:	21			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="リセット"/>				

- 「ローカルサーバ設定一覧」に追加したローカルサーバの設定が表示されます。

ローカルサーバの設定を行います。

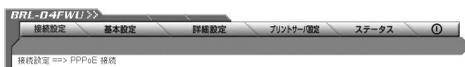
ローカルサーバ設定一覧

プロトコル	公開ポート番号	IPアドレス	ポート番号	削除
TCP	21	192.168.1.100	21	<input type="button" value="削除"/>
新規ローカルサーバ設定				
プロトコル:	TCP	公開ポート番号:	0	
IPアドレス:	0	0	0	0
ポート番号:	0			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="リセット"/>				

■ダイナミックDNS

本製品はwww.dyndns.orgのダイナミックDNSサービスに対応しています。本製品にdyndns.orgに登録してあるユーザ名、パスワード等を設定することで、本製品のWAN側のIPアドレスを定期的にダイナミックDNSサービスに通知します。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「機能詳細」をクリックします。



3. 「ダイナミックDNS」をクリックします。



4. 「ダイナミックDNS」欄から「有効」を選択します。

ダイナミックDNS設定	
ダイナミックDNS:	無効 <input type="button" value="v"/>
ユーザー名:	<input type="text"/>
パスワード:	有効 <input type="button" value="v"/>
ドメイン名:	<input type="text"/>
メールサーバドメイン名:	<input type="text"/>
ワイルドカード:	無効 <input type="button" value="v"/>

5. 「ユーザー名」、「パスワード」、「ドメイン名」、「メールサーバ・ドメイン名」欄にclyn dns.orgに登録してある情報を入力します。

ダイナミックDNS設定	
ダイナミックDNS:	無効 <input type="button" value="v"/>
ユーザー名:	test <input type="text"/>
パスワード:	●●●● <input type="button" value="v"/>
ドメイン名:	pc1co.jp <input type="text"/>
メールサーバドメイン名:	<input type="text"/>
ワイルドカード:	無効 <input type="button" value="v"/>

6. ワイルドカード機能を使用する場合は、「ワイルドカード」欄から「有効」を選択します。
7. 「適用」をクリックします。

6

詳細設定

3 セキュリティ設定

ここでは、本製品のセキュリティに関する設定について説明します。
本製品のセキュリティ機能は基本的なセキュリティ機能を有効/無効で簡単に選択できます。またLAN->WAN、WAN->LANのパケットフィルタを行うことで不要なパケットの通信を防ぐことができます。

■基本セキュリティ設定

「139番ポートからのパケットを許可」

TCPの139番ポートに対するパケットを許可するか拒否するか選択します。

「LAN→WANの通信」

LANからWANへの通信を許可するか拒否するか選択します。

「WAN→LANの通信」

WANからLANへの通信を許可するか拒否するか選択します。

「Incomplete TCPセッション数」

1分間に許可するincomplete TCPのセッション数を入力します。

「IPフラグメントパケットへの応答時間」

IPフラグメントパケットを拒否する場合は「0」を入力し、許可する場合は応答時間を入力します。

「ブロードキャストパケットを許可」

WAN側からのブロードキャストパケットを許可するか拒否するか選択します。

「オプション付きパケットを許可」

Source-routeオプション付きのパケットを許可するか拒否するか選択します。

「リモートログイン機能」

WAN側から本製品の設定画面のアクセスを有効にするか無効にするか選択します。

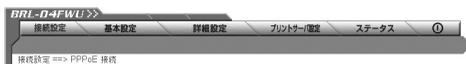
「Ping Requestへの応答」

WAN側のIPアドレスに対するPingを許可するか拒否するか選択します。

■パケットフィルタ

ここでは、本製品のパケットフィルタの設定について説明します。本製品のパケットフィルタではIPアドレス、フィルタ、スケジュールをグループとして管理します。パケットフィルタの設定を行う前に、グループ設定を行ってください。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「セキュリティ設定」をクリックします。



3. 「パケットフィルタ」をクリックします。



6

詳細設定

4. 「パケットフィルタ設定」の画面が表示されます。
「通信方向選択」欄からパケットフィルタを設定する方向を選択します。

パケットフィルタリングの設定を行います。

パケットフィルタ設定

通信方向選択: 通信方向を選択してください

- 通信方向を選択してください
- LAN側からインターネット(WAN)
- インターネット(WAN) -> LAN

5. 「LAN側IPアドレスグループ」、「WAN側IPアドレスグループ」、「フィルタグループ」、「スケジュールグループ」を選択します。

LAN-to-WANのフィルタルール設定を行います。

プロトコル	ポート番号	LAN側IPアドレス	WAN側IPアドレス	ルール	アクション	削除
TCP	Netbios over TCP	Any	Any	Discard Off	Any	削除
TCP	SMB over TCP	Any	Any	Discard Off	Any	削除

LAN側IPアドレスグループ: Any

WAN側IPアドレスグループ: Any

フィルタグループ: Any

スケジュールグループ: Any

ルール: 許可

ログをのこす: 無効

[追加] [リセット]

6. 設定したパケットフィルタを許可するか拒否するか選択します。

7. 「追加」をクリックします。



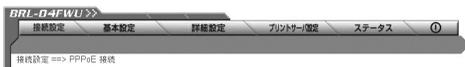
注意

既に登録してある一覧を削除する場合は、「削除」をクリックします。

■URLフィルタ

ここでは、LAN側のパソコンからインターネットの特定のWEBサイトへのアクセスを制限することができます。また、ActiveX、Java、Cookieは攻撃に利用されることがあるため、本製品ではLAN側のパソコンにこれらの機能を制限させることもできます。

1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「セキュリティ設定」をクリックします。



3. 「URLフィルタ」をクリックします。



6

詳細設定

4. 「URLフィルタ」欄から「有効」にチェックをつけ、1～10の入力欄にアクセスを制限したいWEBサイトのURLを入力します。

URLフィルタ: 有効 無効

1:	<input type="text" value="www.planex.co.jp"/>	6:	<input type="text"/>
2:	<input type="text"/>	7:	<input type="text"/>
3:	<input type="text"/>	8:	<input type="text"/>
4:	<input type="text"/>	9:	<input type="text"/>
5:	<input type="text"/>	10:	<input type="text"/>

5. 「WEB言語フィルタ」欄からLAN側のパソコンでの利用を制限する場合は、「拒否」にチェックをつけます。

WEB言語フィルタ

ActiveX:	<input checked="" type="radio"/> 許可	<input type="radio"/> 拒否
Java:	<input checked="" type="radio"/> 許可	<input type="radio"/> 拒否
Cookies:	<input checked="" type="radio"/> 許可	<input type="radio"/> 拒否
Web Proxy:	<input checked="" type="radio"/> 許可	<input type="radio"/> 拒否

6. 「適用」をクリックします。

■メールアラート

本製品がDOS攻撃を受けたときに、指定したMailアドレスに通知することができます。

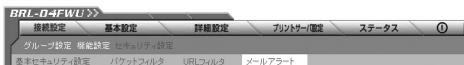
1. メニューバーから「詳細設定」アイコンをクリックします。



2. 「セキュリティ設定」をクリックします。



3. 「メールアラート」をクリックします。



4. 「メールアラート」欄から「有効」にチェックをつけます。

メールアラート:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
送信先メールアドレス:	<input type="text"/>
SMTPサーバIPアドレス:	<input type="text"/>

5. 「送信先メールアドレス」欄に通知先のMailアドレスを入力します。

6. 「SMTPサーバIPアドレス」欄にSMTPのアドレスを入力します。

メールアラート:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
送信先メールアドレス:	<input type="text" value="pc@planex.co.jp"/>
SMTPサーバIPアドレス:	<input type="text" value="210.135.12.15"/>

7. 「適用」をクリックします。

6

詳細設定

プリントサーバ設定

本

製品はUSBプリンタを接続できるプリントサーバ機能を搭載しています。USBポート(Type A)を1ポート装備し、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルに対応しています。Windows対応の設定ユーティリティによる設定のほか、WEB設定画面からの設定も可能です。

1 プリンタへの接続

1. プリンタ付属のUSBケーブルをプリンタのUSBポートに差し込みます。
2. USBケーブルのもう一端(Type A)を本製品のUSBポートに差し込みます。

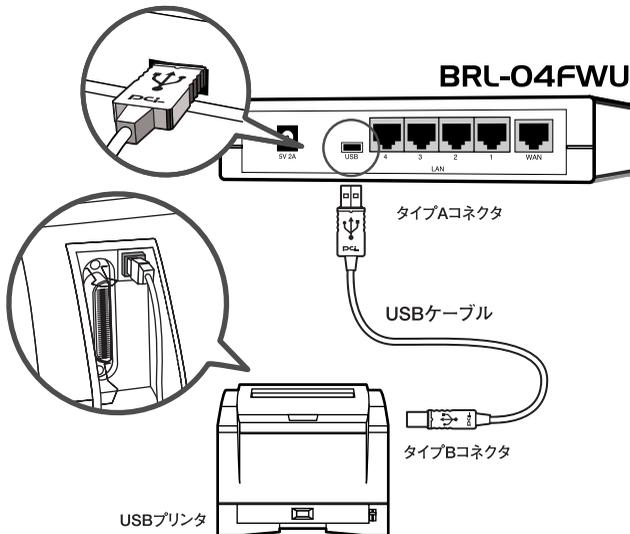


図7-1 プリンタ接続図

7

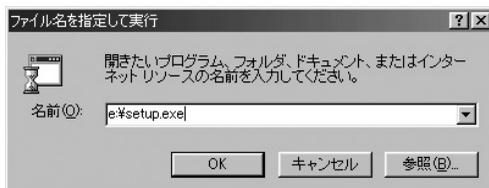
プリントサーバ設定

2 設定ユーティリティとポートドライバのインストール

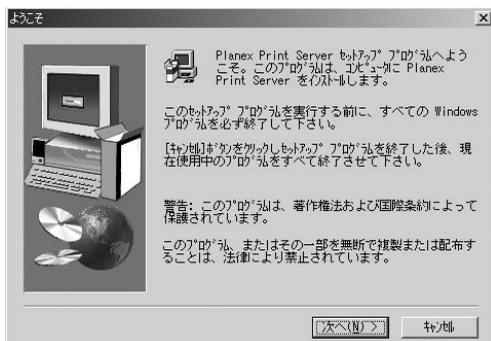
1. 本製品付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブをセットします。
2. 「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」 を選択します。



3. 名前の欄に「e:¥setup.exe」（CD-ROMドライブがEドライブの場合）と入力し「OK」をクリックします。



4. インストールウィザードが起動します。「次へ」をクリックします。



5. 「インストール先の選択」が表示されます。特に変更しない場合は「次へ」をクリックします。インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先を指定します。



6. 「コンポーネントの選択」が表示されます。インストールするコンポーネントを選択します。

Smart Print Manager 3J:

Smart Print Manager 3J本体です。本製品の設定及び管理をおこなうコンピュータにインストールします。デフォルトでは選択されていません。インストールする場合は、選択してください。

Planex PS Port:

プリントサーバ用ドライバです。本製品を使用してプリンタから印刷するコンピュータにインストールします。

インストールするソフトウェアを選択し、「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。



7. インストールが終了すると「セットアップの完了」が表示されます。「完了」をクリックしインストールウィザードを終了します。



3 プリンタの設定

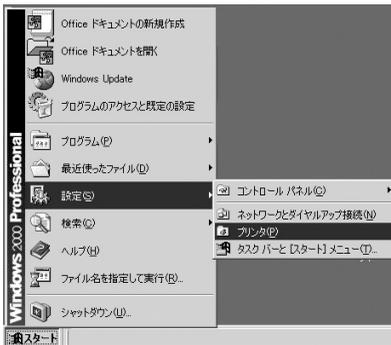
ここではすでにネットワークの設定が完了していることを前提としています。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。



注意

Windows XPには、標準でNetBEUIは導入されていません。

1. Windows 98SE/Me/2000を使用している場合は「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。Windows XPを使用している場合は「スタート」→「プリンタとFAX」を選択します。



Windows 98SE/Me/2000



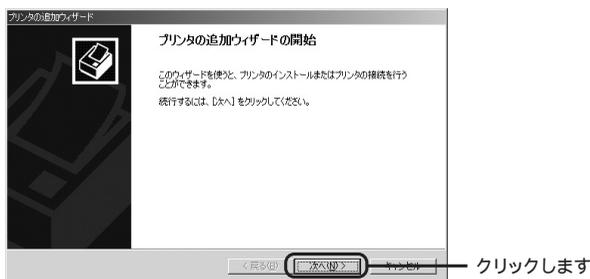
Windows XP

2. 「プリンタ」が表示されます。

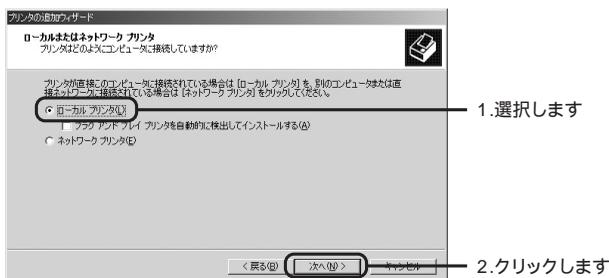


ダブルクリックします

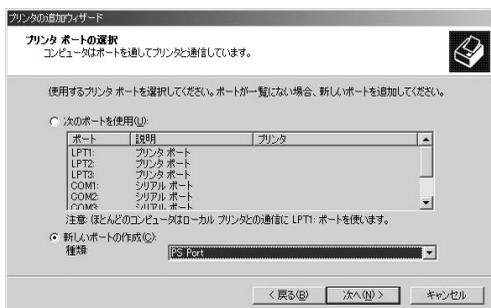
3. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。



4. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」が表示されます。「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「プリンタポートの選択」の選択画面が表示されます。「新しいポートの作成」をチェックし、「種類」リストから「PS Port」を選択します。「次へ」をクリックします。



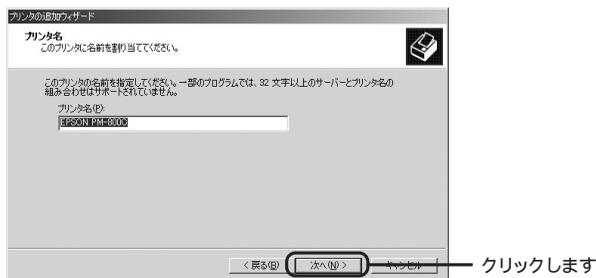
6. 「ポートの追加」が表示されます。使用するプロトコルタブを選択するとネットワーク上で使用可能なプリントサーバが表示されます。「PID」の欄にポート番号が表示されます。使用するプリンタと接続しているポート番号を選択し、「OK」をクリックします。



7. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択します。



8. 「プリンタ名」が表示されます。プリンタ名を変更しない場合はそのまま「次へ」をクリックします。



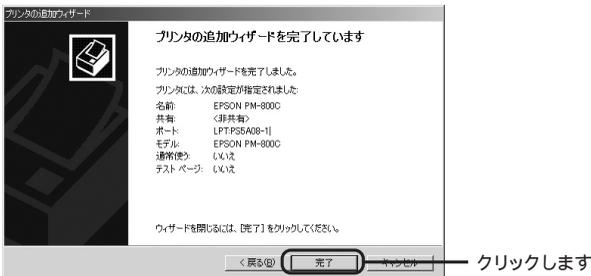
9. 「プリンタ共有」が表示されます。共有しない場合はそのまま「次へ」をクリックします。



10. 「テストページの印刷」が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。



11. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」が表示されます。内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」をクリックします。



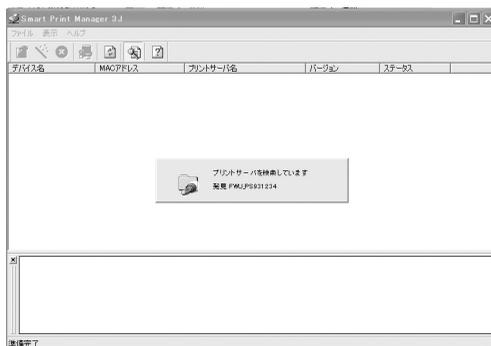
4 ユーティリティの起動

Smart Print Manager 3J の起動とメインメニューについてWindowsXPを例に説明します。

1. 「スタート」→「プログラム」または「すべてのプログラム」→「Smart Print Manager3J」を選択し、クリックします。

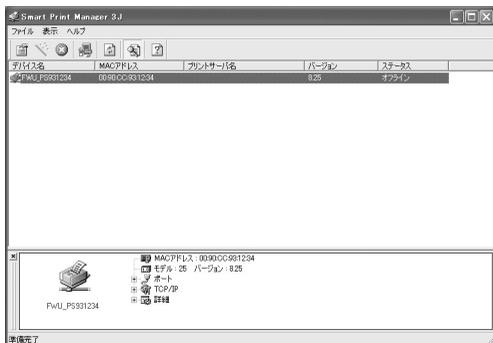


2. Smart Print Manager 3Jが起動し、メインメニューが表示されます。自動的にネットワークに接続しているプリントサーバを検索し、一覧を表示します。



■メインメニュー

メインメニューではネットワーク上の本製品の一覧が表示されます。



「デバイス名」

本製品に設定されている識別用のデバイス名です。デフォルトではFWU_PSxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの後半6桁)です。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレスです。

「プリントサーバ名」

ネットワークで使用されるプリントサーバ名です。デフォルトは空欄です。

「バージョン」

本製品のファームウェアバージョンです。

「ステータス」

プリンタのステータス状態を表示します。

メインメニュー下部の情報表示バーには一覧から選択した本製品の設定情報が表示されます。

■アイコン

メインメニュー上部のアイコンをクリックすると下記の設定をおこないます。

Properties (プロパティ)

プロパティはメインメニューの一覧から選択した本製品の詳細設定をおこないます。設定方法は次項の「ユーティリティによる設定」を参照してください。



Wizard(ウィザード)

一覧から選択したデバイスのTCP/IPやNetWareの設定をおこないます。本製品では使用できません。IPアドレスを変更する場合はWEB設定画面から変更してください。



Reset (再起動)

本製品の再起動をします。メインメニューの一覧から再起動したいプリントサーバを選択して、アイコンをクリックします。



Upgrade (アップグレード)

本製品のファームウェアをアップグレードするときに使用します。アップグレードは以下の手順でおこないます。



1. アップグレード用のバイナリファイル(mpsxxx.bin)を Smart Print Manager 3J のインストール先のフォルダにコピーしておきます。
(インストール時に特にインストール先の選択をしていない場合は“c:¥¥Program Files¥Planex Print Server” にインストールされています。)
2. メインメニューの一覧からアップグレードする本製品を選択して、Upgrade アイコンをクリックします。
3. 「アップグレード」が表示されます。「ローカルアップグレード」を選択します。
4. 「次へ」をクリックします。ファームウェアのアップグレードが開始されます。



注意

最新のファームウェア情報に関しましては弊社WEBページ上にてご確認ください。
(<http://www.planex.co.jp/>)

Refresh (更新)

ネットワークと接続しているプリントサーバの情報を更新します。アイコンをクリックするとネットワーク上の本製品を再検索します。



Toggle InfoView Bar (情報表示バー)

オンになっている場合、メインメニュー下部に選択したプリントサーバの情報を表示します。



about (情報)

使用中のSmart Print Manager 3Jのバージョン情報が表示されます。



5 ユーティリティによる設定

プリントサーバを付属のユーティリティ「Smart Print Manager 3J」から設定する場合は以下の手順でおこないます。

1. メインメニューから設定をおこなう本製品を選択し、ツールバーの Properties アイコンをクリックします。
2. ログインパスワードが設定されている場合、パスワードを入力画面が表示されます。設定したパスワードを入力します。
3. Properties が表示されます。Properties の各タブでは以下の情報表示または設定をおこないます。

■ 一般



◎ 一般情報

ここでは本製品の基本的な情報が表示されます。

「デバイス情報」

本製品の情報です。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレスが表示されます。

「バージョン」

本製品のファームウェアバージョンです。

「モデル」

本製品のモデル番号が表示されます。

「プリントポート」

本製品のプリンタポート数です。

「デバイス名」

本製品に設定されている識別用のデバイス名です。デフォルトではFWU_PSxxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの後半6桁)です。

「パスワード設定」

本製品はSmaer Print Manager3Jからパスワードを変更することはできません。パスワードを変更する場合は、WEB設定画面から変更してください。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

■ 詳細



設定

ここでは本製品で使用する機能を設定します。

ネットウェアのバイナリプリンティングを有効にする。:

ネットウェアのバイナリプリンティングを使用するときはチェックを入れます。

ネットウェアのNDSプリンティングを有効にする。:

ネットウェアのNDSプリンティングを使用するときはチェックを入れます。

LPD/LPRプリンティングを有効にする。:

LPD/LPRプリンティングを有効にするときはチェックを入れます。

◎ プリンタ

プリンタの速度にあわせて本製品の速度を設定します。プリンタの印刷速度が間に合わないときは速度を遅くします。

速い:

プリントサーバの転送速度を速くします。

普通:

通常のプリントサーバの速度です。

遅い:

プリントサーバの速度を遅くします。

設定が終了したら、「OK」をクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

6 WEBブラウザからの設定

WEB設定画面の「プリントサーバ設定」タブをクリックします。



ワークグループ名:

本製品のワークグループ名を設定します。デフォルト値は「Workgroup」です。

シェアード名:

本製品のシェアード名を設定します。デフォルト値は空欄です。

設定が終了したら、「適用」をクリックします。変更を有効にするには本製品を再起動します。

7

プリントサーバ設定

7 ユーティリティのアンインストール

Smart Print Manager3J をコンピュータから削除するときは以下の手順でおこないます。

1. Windows 98SE/Me/2000では「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択します。WindowsXPでは「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。



Windows 98SE/Me/2000



Windows XP

2. 「アプリケーションの追加と削除」または「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。

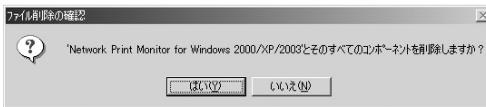


ダブルクリックします

3. 「インストールと削除」タブのリストの中に“Planex Print Server For Windows 2000/XP/2003”または“Planex Print Server For Windows 98/Me”を選択し、「追加と削除」をクリックします。



4. 「ファイル削除の確認」が表示されます。「はい」をクリックします。インストールされたソフトウェアのアンインストールが開始されます。



7

プリントサーバ設定

ネットワークQ&A

1 ブロードバンドルータの色々な「？」について

インターネットの急速な普及により、ブロードバンドルータ（以下、BBルータ）を使用する場面が増えてきました。特に多く寄せられる、LAN全般や弊社製品を使用する際にぶつかる疑問点についていくつかまとめてみました。ネットワークはよく解らない…という方は是非ご一読ください。弊社製品に対する理解を深められることでしょう。

Q BBルータの設定は接続するコンピュータに対して全部で行うのですか？

A いいえ

複数台接続している環境であっても、いずれか1台のコンピュータからBBルータの設定を行うだけで完了します。

補足

設定作業を行った1台でBBルータを介してインターネットにアクセスできるようになっていれば、その時点でBBルータの設定は完了したことになります。他のコンピュータから同じように設定を行う必要はありません。

例えば、2台のコンピュータのうち、1台はインターネットにアクセスできるが、もう1台はアクセスできないという場合は、BBルータではなくコンピュータ側に問題があることが考えられます。

Q インターネットに接続できないのに、どうやって設定画面にアクセスするんですか？

A インターネットへの接続と関係なく、設定画面にアクセスできます。

設定画面はBBルータの中にあります。BBルータの中に設定用のホームページが存在しアクセスすることで、BBルータの設定を行っているのです。

ですから、BBルータがインターネット（モデム）につながっていなくてもコンピュータは設定画面にアクセスすることができるのです。

Q「ブラウザ」ってなんですか？

A インターネット上のホームページ等を見るためのソフトです。

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープ」等が代表的なソフトになります。

補足

BBルータのマニュアルでは「インターネットエクスプローラ」の画面が使われているので「ネットスケープではどうやって設定するんですか？」という質問も寄せられますが、例えば「yahoo」のホームページが「インターネットエクスプローラ」でも「ネットスケープ」でも見ることができるよう、BBルータの設定画面も問題なく「ネットスケープ」で表示することができます。

Q IPアドレスってなんですか？

A TCP/IPプロトコルを使ったネットワークにおいて、コンピュータごとに割り当てられる個別の数字のことを言います。

数字がちょっと変わるだけでアクセスできなくなったりする厄介なイメージがあると思いますが、簡単に考えるなら「学校のクラスと出席番号」に置き換えて考えると判り易いかと思います。

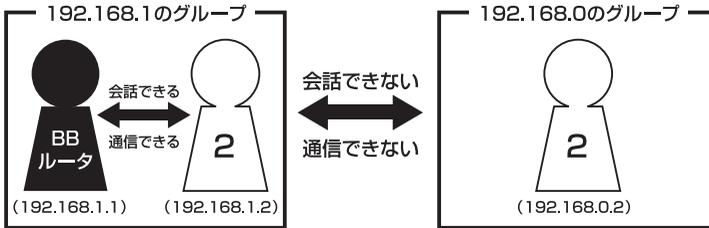
例えばA君とB君とC君がいて、A君とB君は「1-1」組でC君が「1-2」組の場合、A君とB君は同じ教室なのでいつでも話をすることができますが、C君は教室が別なのでA君達とは会えません。IPアドレスもほとんどそれと同じような理屈になっています。

実際のIPアドレスで例えるなら、BBルータのIPアドレスは出荷時には「192.168.1.1」というIPアドレスが設定されています。これは、BBルータ君は「192.168.1」組の出席番号「1」番という意味になります。このBBルータ君と話をするにはコンピュータも「192.168.1」組に入らないと教室が別になるので話できません。

BBルータにアクセスするコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.2」であれば「192.168.1」組の出席番号「2」番になるので、そのコンピュータはBBルータ君と話することができます。

もしコンピュータのIPアドレスが「192.168.0.2」だと、そのコンピュータは「192.168.0」組になるためBBルータ君とは教室が別になり、BBルータ君と話することができません。

つまり、BBルータにアクセスするにはコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.*」という数字でなくてはならないのです。



上記の説明で「出席番号が同じになるとどうなるの?」という疑問を持った方もいると思います。

もし同じ出席番号の人が同じ教室に2人いたら混乱しますね? ネットワークもそれと同じで、IPアドレスは重複してはいけないようになっています。

同じ番号のコンピュータが存在した場合、「その番号を使っている人が他にいますよ」という内容の警告メッセージがコンピュータ上に表示されます。

ここまで読んでいただいた方はもうお判りだと思いますが、IPアドレス「AA.BB.CC.DD」の3つ目(CC)までがネットワークのグループを表していて、最後の数字(DD)がコンピュータごとに設定される個別の数字ということになります。

補足

厳密にはもっと色々なルールがあるのですが、BBルータの設定画面にアクセスするには少なくとも上記レベルのルールが判っていれば、トラブルに遭った時の対処や問題の切り分けに役立つと思います。

2 設定画面

ここではBBルータの設定画面にうまくアクセスできない場合の主な確認点及び確認方法をまとめました。ご利用のコンピュータに該当する項目がないかチェックしてください。

Q 設定画面にアクセスできないのですが？

A LANランプ、IPアドレス、プロキシ、セキュリティソフトそれぞれの項目が正しく設定されていないとアクセスできません。もう一度設定を確認してみてください。

また、BBルータとの通信が正常に行われていない可能性もあります。これはpingというコマンドを使って確認することができます。

確認!

LANランプ

LANランプは点灯していますか？

コンピュータが接続されて正常に通信ができる状態になると「LINK」と言われるランプが点灯します。

BBルータには「LAN」「Link/Act」「LAN LINK」等の名称で呼ばれるランプがついていますので、そのランプが点灯しているか確認してください。（詳しくはマニュアル第1章 4の「各部の名称」をご覧ください）。

・点灯しない場合

ランプが点灯していない場合、BBルータとコンピュータは通信できる状態になっていませんので、設定画面にもアクセスできません。

いくつか原因は考えられますが、まずはケーブルを交換してみてください。

正常にランプが点灯しているポートで使用中の、他のケーブルを使って接続してみてください。

ケーブル交換の後、正常にランプが点灯するようであれば、交換前に使用していたケーブルに問題がある（断線やクロスケーブルなど）ということになります。

IPアドレスが正しく取得できていますか？

アクセスできない場合は、取得しているIPアドレスを確認してください。BBルータには「192.168.1.1」というIPアドレスが出荷時に設定されており、BBルータにアクセスするにはコンピュータが「192.168.1.**」というIPアドレスを取得する必要があります(最後の「**」には任意の数字が入ります)。異なるIPアドレス(210.119.**.**等)を取得している場合はBBルータの設定画面にはアクセスできません。

・確認方法

主なOSでの確認方法は以下のようになりますので、取得しているIPアドレスの確認を行ってください。

Windows® 95/98/MEの場合：

1. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」→「WINIPCFG」と入力→「OK」をクリックしてください。
2. 「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更してください。
3. 「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には任意の数字が入ります)。

Windows® 2000/XPの場合：

1. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。
2. キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーを押してください。
3. 「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には任意の数字が入ります)。

Macintosh® の場合：

1. アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を開いてください。
2. 「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には任意の数字が入ります)。

・まったく違うIPアドレスを取得している場合 (Windows® のみ)

確認したIPアドレスが「192.168.1.**」ではなく、まったく違うIPアドレスを取得している場合、以下の方法で取得しているIPアドレスを開放して、再度IPアドレスを取得しなおすことができます。

Windows® 95/98/MEの場合：

1. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」→「WINIPCFG」と入力→「OK」をクリックしてください。
2. 「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更→「すべて開放」をクリックしてください。
3. 「IPアドレス」が「0.0.0.0」になったのを確認してから「すべて書き換え」をクリックしてください。
4. 「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば正しく取得できたこととなります (**には任意の数字が入ります)。

Windows® 2000/XPの場合：

1. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。
2. キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG /RELEASE」と入力し、Enterキーを押してください。
3. 再度「IPCONFIG」と入力し、Enterキーを押してください。
4. 「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば、正しく取得できたこととなります (**には任意の数字が入ります)。

BBルータと正常に通信していますか？

・接続確認方法（Windows® のみ）

BBルータと通信できているかどうかは「ping」というコマンドで確認することができます。

Windows® 95/98/98SEの場合：

1. 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウィンドウが開きます。
2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。
3. 「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from 192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® MEの場合：

1. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウィンドウが開きます。
2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。
3. 「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from 192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® 2000/XPの場合：

1. 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選択、「コマンドプロンプト」のウィンドウが開きます。
2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。
3. 「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from 192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

・応答が「Request Timed Out」になる

「ping 192.168.1.1」と実行した時「Request Timed Out」と表示される場合は、IPアドレスが正しく取得できていないか、コンピュータのLANアダプタが正常に動作していない可能性が考えられます。

1. IPアドレスが正しく取得できているか確認してください。「IPアドレスが正しく取得できているか」に確認方法が記載されています。
2. LANアダプタが正常に動作しているか確認してください。確認方法はモデムに直接接続してインターネットにアクセスできれば正常です。



ブラウザのプロキシ (PROXY) 設定

不要な設定をしていませんか？

ブラウザのプロキシになんらかの設定が行われていると、アドレスに指定された所に接続する前に、プロキシで設定した所に接続しようとしてしまうため、設定画面にアクセスできない場合があります。その場合は以下のような手順でプロキシの設定を解除してください。

インターネットエクスプローラの場合 (5.0以降) :

- 1.メニューの「ツール」→「インターネットオプション」を選んでください。
- 2.「接続」タブをクリック→「LANの設定」をクリックしてください。
- 3.「自動設定」と「プロキシサーバ」のチェックボックスでチェックされている項目がありましたら、全ての項目のチェックを外してください。
- 4.「OK」をクリック→「ローカルエリアネットワークの設定」ウインドウを閉じてください。
- 5.再度「OK」をクリック→「インターネットオプション」ウインドウを閉じてください。
- 6.一度インターネットエクスプローラを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

ネットスケープの場合：

- 1.メニューの「編集」→「設定」を選択してください。
- 2.「詳細」→「プロキシ」を選択、「インターネットに直接接続する」をチェックしてください。
- 3.「OK」をクリック→ウインドウを閉じてください。
- 4.一度ネットスケープを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

セキュリティ関連ソフトの影響

ウイルスバスターやノートンアンチウイルス等、最近のウイルスチェックソフトには簡易ファイアウォールという機能を搭載した物が増えています。

ファイアウォールはアクセス許可をしていないIPアドレスからのパケット(通信)を遮断したりする機能です。

有効になっていると稀にBBルータとの接続時にファイアウォール機能が働いて設定画面がうまく表示されない事や、設定内容を保存するとエラーになること等があります。

ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティソフトをご使用になられている場合は、それらのソフトを停止させてみてください。停止方法が判らない場合は、各ソフトウエアのマニュアルをご覧ください。

3 インターネットにアクセスできない

ここではBBルータの設定を行ってもインターネットへのアクセスができない場合の、主な確認点及び確認方法をまとめました。

接続方法別にまとめてありますので該当する項目がないかチェックしてください。設定画面にアクセスができない場合は、106ページ「設定画面にアクセスできないのですが?」をご覧ください。

共通項目 事前確認編

どの接続方法にも共通する、最初に確認すべき点です。

Q 設定画面ではすべて正しく設定できたのですが、なぜインターネットにアクセスできないのでしょうか?

A BBルータが正しく接続されていないと通信が行われないので、インターネットにはアクセスできません。以下を確認してください。



WANランプ

WANランプは点灯していますか?

BBルータとモデムを接続して正常に通信ができる状態になると、BBルータの「WAN」のランプが点灯します。

・点灯しない場合

「WAN」のランプが点灯しない場合は、モデムと正常に接続していないことを表しますので、その状態ではインターネットに接続することができません。

本製品は「auto-MDI/MDI-X」に対応しているため、ケーブルの種類（ストレート/クロス）の違いは関係なくなります。

ポートにケーブルのコネクタが正しく挿さっているか再度確認してください。

それでも、点灯しない場合は使用しているLANケーブルを変えてみる必要があります。

接続設定フレッツ編

ここではNTT提供のフレッツ・ADSL、Bフレッツ等のようなフレッツ接続ツールを利用してインターネットにアクセスする場合の、インターネット接続に関する主な確認点をまとめました。

接続ツール等を使わない場合は117ページ「接続設定ケーブルTV、Yahoo!BB編」をご覧ください。

Q インターネットへの接続や切断はどうするの？

A BBルータが回線の状態を検知し、自動的に接続・切断を行います。

NTT「フレッツ」を利用されているほとんどの方が、NTTのフレッツ接続ツールを使ってインターネットに接続し、アクセスをやめる時は切断処理をしていたと思いますが、「BBルータを使う場合はどうやって接続するの？」という疑問をもたれる方もいると思います。

BBルータ使用の場合、コンピュータがインターネットへ接続しようとする時、そのコンピュータはBBルータに接続のための信号を送信します。

BBルータはその信号を受信すると、回線が切断状態の時には自動的に接続を開始します。そして、一定時間インターネットへの接続が発生しない場合、自動的に切断を行うようになっていきます。

つまり、ユーザーは接続や切断を意識することなく、インターネットへアクセスできるのです。



注意

上記の動作は出荷時の設定で使用した場合になります。設定内容によっては上記のような動作にならない場合もありますのでご注意ください。

Q 今までフレッツ接続ツールを使っていたのですが、BBルータを設置した場合にインターネット接続する時の確認点はなんですか？

A ユーザID、パスワード、PPPoE設定・接続、接続ツールなどです。

ユーザID、パスワード

ユーザIDとパスワードに間違いはないですか？

フレッツ接続の場合、接続のためにユーザID（ログインID）とパスワード（ログインパスワード）をBBルータに設定しますが、その入力を間違えると正常に接続できません。

入力ミスは意外と多く、再度入力し直すと接続できることが度々ありますので、入力した内容に間違いがないか、今一度確認してください。

「1（いち）」⇔「l（エル）」、「0（ゼロ）」⇔「O（オー）」の間違いなど。

フレッツの場合は「@」以降の入力が必須です

フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、ユーザID（ログインID）やパスワード（ログインパスワード）の入力が必須です。

特に注意すべき点として、ユーザIDの設定ではご利用になるプロバイダごとに、ユーザIDの後ろに「@****.ne.jp」というような設定入力が必要です。

プロバイダからの接続資料にはユーザIDの表記で「@」以降の部分が記載されていない場合もあります。

その場合はNTTからのフレッツ接続資料の中に、プロバイダ別のドメイン名リストがありますので、そちらで「@」以降の表記をご確認ください。

PPPoE接続の結果を確認してください。

BBルータにより確認方法が異なってくるため詳細は割愛しますが、PPPoEの接続設定の後には接続確認が大抵の場合行われます。

「接続診断」という機能を持ったBBルータの場合は、その機能を使って接続結果が良好かどうかを確認してください。

設定の最後で自動的に接続し、その結果を画面上に表示するタイプのBBルータの場合、接続に成功したというメッセージが表示されるか確認してください。

・接続テストの結果、接続できなかったという場合

「PADI-TIMEOUT」や「サーバからの応答 NG」等になる時は、PPPoE設定の「ユーザID」の設定が正しくても接続できないことがあります。

その場合、モデム・BBルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態で30～60分ほどそのままにしておいてください。

30～60分ほど経過しましたらモデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

フレッツ接続ツール

フレッツ接続ツールは使いません

BBルータを使用する場合は本編冒頭の「インターネットへの接続や切断はどうするの?」にも書きましたように、フレッツ接続ツールは使用しません。

もし現在、BBルータの設定後にフレッツ接続ツールを起動してインターネットへの接続をしている場合は、フレッツ接続ツールは使用せずにブラウザを起動して、インターネットに接続できるか確認してください。

正しく接続設定が行われていれば、フレッツ接続ツールを使用しないで接続できます。

・PPPoE接続だけど接続ツールを使わない場合の設定は?

ADSL回線でPPPoE接続だが、モデムにコンピュータを接続してインターネットにアクセスする際、接続ツール等を使用しないという場合は、ご利用のモデムにBBルータ機能がついている可能性が考えられます。その場合は「PPPoE接続」ではありませんので、次項の「アッカやイー・アクセスをご利用の場合」を参考に設定を行ってください。

アッカやイー・アクセスをご利用の場合

アッカやイー・アクセスはADSL回線ですが、提供されているモデムにルータ機能がついています。複数のコンピュータで利用する場合は、ハブがあればアクセスできるため本来BBルータは必要ありません。

しかし、どうしてもBBルータを使用したいという場合は、BBルータのIPアドレスを変更することで利用可能になります。

BBルータのIPアドレスは本冊子の冒頭でも触れているように「192.168.1.1」になります。もし、ご利用のモデムも同じく「192.168.1.1」というIPアドレスを持っていて、しかも設定画面にアクセスした時にモデムの設定が行えるようだと、BBルータのWAN側とLAN側が同じようなアドレス（192.168.1.**）になってしまい、BBルータが混乱して正常な動作ができなくなります。

ハブではなくBBルータを使用したい場合はBBルータのLAN側のIPアドレスを、「192.168.2.**」等のようにWAN側のIPとは別のアドレスに変更すれば、接続できるようになります。

接続設定ケーブルTV、Yahoo!® BB編

Q ケーブルTVインターネットやYahoo!® BBを利用した場合に、インターネット接続する時の確認点はなんですか？

A IPアドレスの取得、ケーブルTVインターネットの場合はケーブルの接続方法にもご注意ください。

IPアドレスの取得

・ケーブルTVやYahoo!® BBをご利用の場合

ケーブルTVやYahoo!® BBを利用する場合は「通常接続（DHCP接続）」という方式で接続を行います。

各BBルータのマニュアルをご覧くださいと判るかと思いますが、この場合設定らしい設定はほとんど必要ありません。

インターネットに接続するには、BBルータがプロバイダからIPアドレスを取得しなければいけませんので、BBルータのWAN側ポートにIPアドレスが表示されているか確認してください。

確認方法はBBルータによって画面が異なりますので詳細は割愛しますが、「ステータス表示」や「アカウント管理」の画面で確認することができます。

ケーブルの接続

・WAN側ポートにIPアドレスが割り当てられない時

ケーブルTV等を利用したPPPoE以外のインターネット接続方法の場合、BBルータを接続する前まではコンピュータをモデムに接続して利用していることが多いと思います。

ケーブルをモデムから外してそのままBBルータに接続してしまうと、本来BBルータに割り当てられるはずのIPアドレスをコンピュータが持ったままになってしまい、BBルータがモデムからIPアドレスを正しく取得できないことがあります。

その場合はコンピュータを再度モデムに接続しなおしていただき、一度コンピュータを終了させる処理を行ってください。

モデム接続後にコンピュータを終了させれば、通常は取得したIPアドレスは開放されます。コンピュータの電源が切れたらモデムとBBルータを接続し、モデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

・それでも接続できない場合

モデムにコンピュータを接続した後、一旦終了させてからモデムとBBルータを接続し、電源を入れなおしてもインターネットに接続できない場合は、モデム・BBルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態でも60分ほどそのままにしておいてください。

モデムを含めた全ての機器の電源を長時間切ることによって、プロバイダ側のサーバが記憶している情報が削除されて、初めて接続した時のような状態で接続することができます。60分ほど経過しましたらモデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

共通項目 最終確認編

どの接続方法にも共通する、最後に確認すべき点です。

Q 事前確認、接続設定と確認して問題がなかったのですが、それでもアクセスできません。ほかに確認点はありますか？

A コンピュータのIPアドレスが自動取得である事と、DNSサーバアドレスの設定を再確認してください。



自動取得

コンピュータのIPアドレスは自動取得になっていますか？

コンピュータのIPアドレスを手動で設定する場合、正しく設定されていないと設定画面にはアクセスできてもインターネットにアクセスできないことがあります。

手動設定の場合の注意点は次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参照していただき、コンピュータのIPアドレスが正しく自動取得になっているか、マニュアルを再度確認してください。



DNSサーバアドレス

IPアドレスでホームページにアクセスしてみてください。

ブラウザのアドレスに「http://210.197.75.205」と入力してEnterキーを押していただき、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。

「http://210.197.75.205」だとアクセスできて「http://www.planex.co.jp」だとアクセスできない場合は、DNSサーバアドレスが正しく設定できていない可能性が考えられます。次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参考に設定を行ってください。

4 その他 よくあるお問い合わせについて

ここでは、多数寄せられる質問について、いくつかまとめてみました。

Q IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？

A IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスが正しく設定されているか再確認してください。

IPアドレスの基本的なルールは冒頭の「IPアドレスってなんですか？」の中で触れていますが、設定画面にアクセスする場合に必要な最低限の説明だけなので、インターネットに接続する場合の設定については不十分になっています。手動でIPアドレスを設定する場合の注意点は以下のようになります。

IPアドレス：

IPアドレスの設定については104ページ「IPアドレスってなんですか？」をご覧ください。

サブネットマスク：

通常は「255.255.255.0」と指定してください。

デフォルトゲートウェイ：

(Mac® OSでは「ルータアドレス」と言います)

BBルータのIPアドレスが入ります。出荷時の設定は「192.168.1.1」になります。ここが正しく設定されていないとインターネットには接続できません。

DNSサーバアドレス：

(Mac® OSでは「ネームサーバアドレス」と言います)

ご利用になっているプロバイダのDNSサーバアドレスを入力してください。

BBルータによっては「デフォルトゲートウェイ」と同じIPアドレスで問題ない場合もありますが、判らない場合はプロバイダ指定のDNSサーバアドレスを設定するのが確実です。

ここが正しく設定されていないと「www.planex.co.jp」という名前(ドメイン名)でホームページにアクセスできなくなります。

Q BBルータに接続しているコンピュータ同士の通信ができません。

A pingを打って通信確認ができれば、BBルータの問題ではありません。OS側の設定の問題だと思われます。

インターネットへの接続は問題ないのに、コンピュータ同士のファイル共有等ができないという問い合わせも良く寄せられます。コンピュータ同士のLAN接続について、基本的にBBルータは関与しておりません。

BBルータの通信確認

コンピュータ同士が本当にアクセスできていないのか確認する方法として、106ページ「設定画面にアクセスできないのですが？」の中に、取得しているIPアドレスを確認する方法と、指定のIPアドレスにpingを打つ方法を紹介していますので、そちらを参考にそれぞれのコンピュータが取得しているIPアドレスを確認して、相手のコンピュータに対してpingを打ってみてください。

「Reply from・・・」が帰ってくればコンピュータ同士の接続は問題なくできていることとなりますので、ファイル共有等ができないのはBBルータの問題ではなくOS側の設定の問題ということになります。

OS側の要因

pingの結果が「Request timed out」だったり、pingが通っても接続できない場合に考えられる一つの要因として、ファイヤウォールソフトの存在が挙げられます。ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティのソフトには、簡易ファイヤウォール機能を有している物があります。

使用しているコンピュータにそれらのソフトをインストールしている場合、ファイヤウォールが有効になっていると、たとえ自宅の中の同じネットワーク上のコンピュータであっても、ファイヤウォールから見ると第三者がそのコンピュータにアクセスしているように映るため、アクセスされないように遮断してしまいます。

該当するようなソフトを利用されている場合は、それらのソフトを停止させた状態で再度pingコマンドを打ち、通信状態を確認してみてください。

停止させるとpingが通るような場合は、それらソフトのファイヤウォールに他のコンピュータのIPアドレスを設定し、信頼するコンピュータとして認識させることで、ファイヤウォールを有効にしながらファイル共有ができるようになります。

**Q コンピュータの電源をOFFにしたのに、BBルータのLANのランプが
いたままですが故障でしょうか？**

A 故障ではありません。「Wake On Lan」機能によるものです。

最近のLANアダプタには「Wake On Lan（以下WOL）」という、他のコンピュータから電源をON/OFF操作するための機能がついている物が多くなっています。

「WOL」に対応したLANアダプタでその機能が有効になっている場合、電源ONの信号を受信できるように待機状態になっている必要があるため、コンピュータ自体の電源はOFFになっていても、LANアダプタはBBルータのハブとLINKした（LANのランプが点灯した）状態になります。つまりBBルータ側ではどうすることもできません。

消えるようにするには「WOL」の機能をOFFにする必要がありますので、ご使用のLANアダプタのメーカーか、あるいは標準でコンピュータに搭載されているLANアダプタの場合はコンピュータメーカーに機能を無効にする手順をお問い合わせください。

仕様

項目	説明	
品名	4ポートブロードバンドルータ	
型番	BRL-04FWU	
ルータ部	WAN側ポート	10/100BASE-T x 1ポート(RJ-45コネクタ)
	LAN側ポート	10/100BASE-T x 4ポートスイッチングハブ(RJ-45コネクタ)Auto MDI/MDI-X対応
	ルーティング対応プロトコル	IP
	アドレス変換	NAT/IPマスカレード(NATP)
	PPPoEクライアント機能	マルチセッション(2セッション)、サービスオンデマンド(自動接続) アイドルタイム(無通信時自動切断)対応
	DHCPサーバ機能	最大253台のクライアントにIPアドレスを割り当て(無効設定可能)
	DHCPクライアント機能	プロバイダよりIPアドレスを自動取得(無効設定可能)
	ローカルサーバ機能(静的IPマスカレード)	TCP/UDPポート別にLAN側の指定したパソコンへトラフィックを転送
	バーチャルコンピュータ機能	インターネットからのトラフィックをLAN側指定のPCに転送
	ファイアウォール機能	サービスフィルタリング
	モニタ機能	WEBインタフェース上で各種の通信情報が確認可能
	設定方法	WEBブラウザ(ファームウェアアップデート可能)
	動作OS	Windows XP/2000/Me/98SE、Mac OS X/9.x/8.x
その他機能	DDNS機能(DynDNS.org)、VPN/パスルー(PPTP、IPsec) スタティックルーティング、メールアラート、リモートマネージメント	
プリントサーバ部	規格	USB 1.1
	USBポート	USB 1.1 タイプA ポート x 1ポート
	転送速度	Low Speed モード(1.5Mbps)、Full Speed モード(12Mbps)
	動作OS	Windows XP/2000/Me/98SE
その他	サイズ(W x H x D)	162(W) x 35(H) x 101(D)mm
	重量	220g
	入力電圧、電流 / 消費電力	DC5V 1.5A / 最大 7.5W
	EMI	CE / FCC Class B / VCCI Class B
	動作温度 / 湿度	0 ~ 40 / 35 ~ 70%(結露なきこと)

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

*祝祭日および弊社指定の休業日を除く

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

◇お問い合わせ前のご願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
- ・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
- ・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name	4ポート ブロードバンドルータ
型番 Product No.	BRL-04FWU
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

